

平成24年度
厚木市教育委員会点検・評価報告書
(平成23年度事業対象)

平成24年 7 月

厚木市教育委員会

目 次

1 厚木市教育委員会の基本目標等	1
1 基本目標	3
2 基本方針	4
2 厚木市教育委員会の点検・評価について	7
1 趣旨	8
2 点検・評価の対象	8
3 点検・評価の方法	8
4 教育委員会の開催状況	9
3 厚木市教育充実プラン主要事業の点検・評価	15
基本方針1 「確かな学力」を身に付ける教育を推進します。	16
基本方針2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育を推進します。	41
基本方針3 教職員の資質・能力と組織力の向上を通して、信頼される 学校づくりを推進します。	53
基本方針4 課題やニーズに対応した教育環境の整備・充実を図ります。 ...	58
基本方針5 教育の原点である家庭教育を支援します。	71
基本方針6 地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の 教育力の向上に努めます。	74
基本方針7 スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを 推進します。	76
基本方針8 人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。	83
点検・評価委員会からの総括的意見	84

1 厚木市教育委員会の基本目標等

1 基本目標

厚木市教育委員会基本目標

(平成20年3月26日議決)

厚木市教育委員会は、未来を担う人づくりを進めるために、

- 1 自ら学び、鍛え、未来を切り拓くためのたくましい力の育成 【拓く力】
- 2 自他を大切にし、互いを認めあえる豊かな心の育成 【感じる力】
- 3 社会の一員として共に支えあい、よりよい社会を築いていく力の育成 【築く力】

を基本目標に掲げ、家庭・学校・地域社会と協働で取り組みます。

厚木市教育委員会基本目標の3つの力は、平成18年12月に制定された教育基本法において規定された教育の目標や、平成19年8月に策定された「かながわ教育ビジョン」を踏まえて制定したものです。

「拓く力」では自分自身に関すること、「感じる力」では自分と他者及び自分と自然とのかかわりに関すること、「築く力」では、個人と社会とのかかわりに関することをうたっています。この3つの力は、子どもたちだけではなく、市民一人一人がより豊かに生きていくために求められているものです。



2 基本方針

教育委員会の長期的指針である「教育委員会基本目標」に基づき、その目標を具体的な事務事業に的確に反映していくに当たり、中期的な指針として施策の基本的方向を明確にするため、8つの「基本方針」を定めました。

1 「確かな学力」を身に付ける教育を推進します。

学習指導要領の基本理念としている「生きる力」^{※1}が、生涯にわたり実社会を主体的に生きていくための力であることから、基礎的・基本的な知識や技能の習得、それを活用した課題解決をするために必要な思考力、判断力、表現力などの育成、学習意欲の向上や学習習慣の確立を重視した教育を推進します。（「確かな学力」^{※2}）

2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育を推進します。

規範意識の希薄化、基本的な生活習慣の乱れや体力・運動能力の低下などが、現在の子どものたちの課題であることを踏まえ、子どもたちを、規範意識や自立心、思いやりの心や感動する心を持ち、意欲や気力の源となる体力を身に付け、他の人と相互に支援し合えるような人に育てる教育を推進します。

3 教職員の資質・能力と組織力の向上を通して、信頼される学校づくりを推進します。

「教育は人なり」という言葉で表されるように、より良い教育のためには、力量のある教職員が求められています。教職員一人一人が情熱と使命感を持ち、確かな専門性を身に付け、学校全体の組織力の向上につながるよう、教職員研修等を一層充実させ、保護者や地域から信頼される学校づくりを推進します。

4 課題やニーズに対応した教育環境の整備・充実を図ります。

国際化、高度情報化、科学技術の進展など多様化する現代において、今日的な課題や一人一人の教育的ニーズに対応し、更に創意工夫に満ちた教育活動を推進するために、家庭・学校・地域社会の声を聞きながら教育環境の整備・充実を図ります。

5 教育の原点である家庭教育を支援します。

家庭は、子どもの心とからだを健やかにはぐくみ、基本的な生活習慣や人への信頼、人と
かかわる力を育成する重要な場です。保護者が家庭教育の大切さを再認識し、安心して子育て
ができるよう、積極的に支援します。

6 地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上に努めます。

子どもたちを健やかにはぐくむためには、家庭や学校とともに、地域社会が子どもたちに
かかわることが大切です。そのためにも、地域人材の持つ力や情報ネットワークを生かした
地域コミュニティづくりに努めます。

7 スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを推進します。

スポーツ、芸術・文化活動を主体的に行えるよう人材育成等を行い、子どもから大人ま
でイキイキと充実した生活が送れる地域づくりを推進します。

8 人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。

「あらゆる立場の一人一人が、互いにかけがえのない人間として尊重される」という考え
のもとに、家庭・学校・地域社会と積極的に連携し、人権教育の充実を図ります。

※1 生きる力

- ・基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら学び、自ら
考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
- ・自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- ・たくましく生きるための健康や体力などの、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」など
から構成される総合的な力

※2 確かな学力

文部科学省が提唱しているもので、基礎的・基本的な「知識や技能」に加え、自分で課題を
見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決するなどの
「学ぶ意欲」や「思考力、判断力、表現力など」を含めた幅広い学力

2 厚木市教育委員会の点検・評価について

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用した点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

そこで、教育委員会では、法の趣旨にのっとり、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図るとともに、教育委員会の責任体制の明確化を図り、市民の方々への説明責任を果たすために、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、報告書として作成しました。

2 点検・評価の対象

点検・評価は、平成23年度の厚木市教育充実プランに位置付けた、主要事業を対象として実施しました。

3 点検・評価の方法

点検・評価では、対象事業の実績などを踏まえて課題等を分析し、今後の事業方針等を検討しました。

また、点検・評価の客観性を確保するため、厚木市教育委員会点検・評価委員会を設置し、教育に関し学識経験を有する次の委員の方々から、御意見をいただきました。

(50音順)

氏 名 (敬称略)	役 職 等
北川 栄子	元厚木市中学校長会副会長
林 元春	元厚木市小学校長会会長
平本 博	元厚木市小学校長会会長

【参考】「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

4 教育委員会の開催状況

(1) 教育委員会委員

(平成24年3月31日現在)

役 職	氏 名
委 員 長	利 根 川 勇
委員長職務代理者	難 波 有 三
委 員	山 本 玲 子
委 員	新 川 勉
教 育 長	平 井 広

(2) 教育委員会開催状況

(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会													

件 名		件 名	
4月定例会	◎平成24年度義務教育諸学校で使用する教科用図書採択に係る厚木市教育委員会の方針の制定について ○事務の臨時代理の報告について(規則改正) ○事務の臨時代理の報告について(規程改正) ○事務の臨時代理の報告について(人事異動) ○事務の臨時代理の報告について(心身障害児の教育措置) ○青少年心理相談員の委嘱について ○平成23年度教育施設整備計画について ○結核対策委員会委員の委嘱について ○厚木市教育研究所研究員の委嘱について ○厚木市青少年相談員の委嘱について	5月定例会	○厚木市青少年相談員の委嘱について ○平成22年度児童・生徒指導について
	◎厚木市学校事故見舞金条例の一部を改正する条例(案)について ◎厚木市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ◎厚木市学校事故審査委員会委員の委嘱について ◎厚木市小中学校通学区域再編成委員会委員の委嘱について ◎厚木市社会教育委員の委嘱について ◎厚木市スポーツ振興審議会委員の任命について ◎厚木市文化財保護審議会委員の委嘱について ◎厚木市中心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について ◎厚木市青少年教育相談センター運営協議会委員の委嘱について ◎厚木市指定有形文化財の指定について ◎厚木市指定天然記念物の指定について	6月定例会	◎厚木市図書館協議会委員の任命について ○事務の臨時代理の報告について(規則改正) ○平成23年度厚木市教育委員会表彰被表彰者について ○小児生活習慣病対策推進委員会委員の委嘱について ○厚木市学校給食の在り方検討会委員の委嘱について ○平成23年度夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会厚木市大会について ○厚木市和田傳文学基金委員会委員の委嘱について ○厚木市青少年相談員の委嘱について ○事務の臨時代理の報告について(人事異動)
5月定例会		7月定例会	◎平成24年度使用の厚木市立小学校及び中学校教科用図書の採択について ◎厚木市学校給食調理員服務規程の一部を改正する規程について ◎教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について ○厚木市中学校選択制見直し検討委員会委員の委嘱について
		8月定例会	◎平成23年度教育予算補正(案)について ○厚木市立厚木小学校給食調理場新築工事請負契約の締結について

件 名		件 名	
9 月 定 例 会	◎厚木市教育委員会教育長の任命について ◎厚木市社会教育委員の委嘱について ☆厚木市教育委員会委員長選挙 ☆厚木市教育委員会委員長職務代理者の指定	1 月 定 例 会	○事務の臨時代理の報告について (付属機関の委員の委嘱) ○平成24年度厚木市立中学校選択制について ○平成24年度以降に使用する中学校指導要録等の書式について ○公立学校の教育方針の基本に生徒児童の基本的人権回復への厳格な配慮を要求せる請願書について
10 月 定 例 会	◎厚木市青少年教育相談センター運営協議会委員の委嘱について ◎厚木市立南毛利中学校の通学区域の変更に係る諮問について ○事務の臨時代理の報告について (人事異動) ○事務の臨時代理の報告について (心身障害児の教育措置) ○平成23年度厚木市教育委員会表彰被表彰者について ○厚木市立図書館条例の一部改正に係るパブリック・コメントの実施について ○第26回厚木市和田傳文学賞受賞者について	2 月 定 例 会	◎厚木市教育充実プランについて ◎厚木市教育ネットワークコーディネーター規則の制定について ◎厚木市青少年心理相談員規則の一部を改正する規則について ◎厚木市教育委員会事務局及び教育機関の組織等に関する規則の一部を改正する規則について ◎厚木市市民参加条例(案)について ◎厚木市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例(案)について ◎厚木市立図書館条例の一部を改正する条例(案)について ◎厚木市営体育施設条例の一部を改正する条例(案)について ◎平成23年度教育予算補正(案)について ◎平成24年度教育予算(案)について ◎厚木市立公民館長の任命について ◎厚木市個人情報保護審査会への諮問について ○事務の臨時代理の報告について (人事の内申) ○事務の臨時代理の報告について (心身障害児の教育措置) ○平成23年度厚木市教育委員会表彰被表彰者について ○平成23年度厚木市立小学校学校医について
11 月 定 例 会	◎厚木市職員定数条例の一部を改正する条例(案)について ◎厚木市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例(案)について ◎厚木市立社会教育集会所指定管理者の指定(案)について ◎厚木市営体育施設指定管理者の指定(案)について ○厚木市教育委員会事務局及び教育機関の組織改正(案)に係る意見の申出について		
12 月 定 例 会	○平成23年度こどもアート展の開催について		
1 月 定 例 会	◎厚木市南毛利中学校の通学区域の変更について ◎厚木市立小学校及び中学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則について		

件 名		件 名	
3 月 定 例 会	◎厚木市市民参加条例施行規則について ◎厚木市体育指導員規則の一部を改正する規則について ◎厚木市教育委員会職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則について ◎厚木市教育委員会職務権限規程の一部を改正する規程について ◎厚木市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について ○事務の臨時代理の報告について (人事の内申) ○事務の臨時代理の報告について (心身障害児の教育措置)	3 月 定 例 会	○事務の臨時代理の報告について (人事異動) ○厚木市学校教育指導員及び厚木市社会教育指導員の委嘱について ○平成24年度厚木市立小・中学校学校医等について ○学校給食用食材の放射性物質の検査について ○平成24年度教職員の研修方針について ○平成24年度日光修学旅行の実施に係る対応について ○厚木市青少年心理相談員の委嘱について
◎審議事項 ○報告事項 ☆その他			

〔審議事項内訳〕

(単位：件)

条例	予算	規則	訓令	人事	その他	合計
7	3	7	3	13	11	44

＊ その他事項の議案

- ・平成24年度義務教育諸学校で使用する教科用図書採択に係る厚木市教育委員会の方針の制定について
- ・厚木市指定有形文化財の指定について
- ・厚木市指定天然記念物の指定について
- ・平成24年度使用の厚木市立小学校及び中学校教科用図書の採択について
- ・教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について
- ・厚木市立南毛利中学校の通学区域の変更に係る諮問について
- ・厚木市立社会教育集会所指定管理者の指定（案）について
- ・厚木市営体育施設指定管理者の指定（案）について
- ・厚木市立南毛利中学校の通学区域の変更について
- ・厚木市教育充実プランについて
- ・厚木市個人情報保護審査会への諮問について

〔報告事項内訳〕

(単位：件)

事項	事務の臨時代理の報告		附属機関以外の委員の任命等	事業等の周知	その他	合計
	人事	その他				
件数	7	7	14	2	15	45

(3) 教育委員会委員のその他の活動

〔視察関係〕

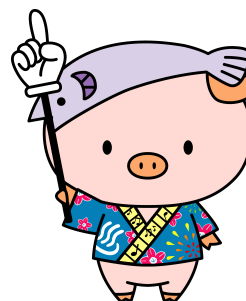
- ・ 小学校
- ・ 飯山グラウンド

〔式典関係〕

- ・ 小・中学校入学式、卒業式
- ・ 小学校運動会
- ・ 教職員異動辞令伝達式、退職辞令伝達式
- ・ 毛利台小学校給食調理場完成を祝う会
- ・ 教育研究発表会・教育講演会
- ・ 市民体育祭
- ・ 教育長任命式
- ・ 郷土芸能大会
- ・ あつぎマラソン
- ・ 和田傳文学賞授賞式
- ・ 厚木こども科学賞表彰式
- ・ こどもアート展審査会・表彰式
- ・ 教育委員会表彰式
- ・ あつぎ駅伝競争大会

〔その他〕

- ・ 厚木市教科用図書採択検討委員会
- ・ 市町村教育委員会連合会（総会）
- ・ 市立小中学校PTA連絡協議会総会
- ・ PTA会長と教育関係者との研究会
- ・ 市町村教育委員会連合会（研修会）
- ・ 市立小中学校PTA活動研究大会
- ・ 厚木市史編さん委員会



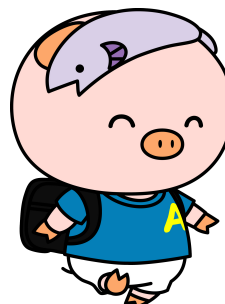
3 厚木市教育充実プラン主要事業の 点検・評価

基本方針1 「確かな学力」を身に付ける教育を推進します。

基本方針1の実現のために取り組んだ主要事業

事業名	小学校保護者負担軽減事業
担当課等	学校施設課
事業概要	保護者の経済的負担の軽減を図るため、図工科、家庭科を中心とした教材等や、クラブ活動に係る消耗品・備品を購入しました。
23年度実績	〈市立小学校〉1,967万9千円 消耗品費 1,962万1千円、備品購入費 5万8千円 児童一人当たり補助額 2,918円、クラブ活動に係る補助額 250円
成果と課題・今後の取組等	保護者が負担する教材教具費のうち、18.1%を公費で負担することで、保護者の経済的負担を軽減できました。今後も、財政状況や学校現場の実態に応じて実施してまいります。

点検・評価委員からの意見	- 保護者の経済的な負担を軽減する事業として、継続を望みます。ただし、市民はどの程度補助されているのか、具体的には知らないと思われますので、理解を深めてもらうためにも、周知の方法等を工夫してほしいと思います。 - 社会的に多くの課題を抱える現在では、保護者の経済的負担はますます増加していると思われます。家庭の経済的負担による教育格差を生じさせず、確かな学力を身に付ける教育を推進するために有意義な事業であり、今後も充実・継続が必要と考えます。
--------------	---



事業名	中学校保護者負担軽減事業
担当課等	学校施設課
事業概要	保護者の経済的負担の軽減を図るため、音楽科、美術科、技術・家庭科を中心とした教材等や、部活動に係る備品を購入しました。
23年度実績	〈市立中学校〉2,163万3千円 消耗品費 1,591万8千円、備品購入費 571万5千円 生徒一人当たり補助額 4,232円、部活動に係る補助額 921円
成果と課題・今後の取組等	保護者が負担する教材教具費のうち、27.8%を公費で負担することで、保護者の経済的負担を軽減できました。今後も、財政状況や学校現場の実態に応じて実施してまいります。

点検・評価委員からの意見	・ 保護者の経済的な負担を軽減する事業として、継続を望みます。ただし、市民はどの程度補助されているのか、具体的には知らないと思われますので、理解を深めてもらうためにも、周知の方法等を工夫してほしいと思います。 ・ 社会的に多くの課題を抱える現在では、保護者の経済的負担はますます増加していると思われます。家庭の経済的負担による教育格差を生じさせず、「確かな学力」を身に付ける教育を推進するために有意義な事業であり、今後も充実・継続が必要と考えます。
--------------	---

事業名	小学校学級活動交付金
担当課等	学校施設課
事業概要	学級運営の充実と保護者の経済的負担の軽減を図るため、市立小学校に交付金を交付しました。
23年度実績	〈市立小学校全23校〉1,742万1千円 児童一人当たり補助額 1,370円
成果と課題・今後の取組等	学級活動に必要とする消耗品を購入するための交付金を交付することにより、学級運営の充実と保護者負担の軽減を図ることができました。また、平成24年度は交付金としてではなく、学校の事務軽減等のため、学校配当予算の消耗品費として配当する方法に変更しました。

点検・評価委員からの意見	・ 保護者の経済的な負担を軽減する事業として、継続を望みます。ただし、市民はどの程度補助されているのか、具体的には知らないと思われますので、理解を深めてもらうためにも、周知の方法等を工夫してほしいと思います。 ・ 学級担任が、児童の自主性を伸ばし、創意ある学級づくりを進めていく上で、学級活動費は必要不可欠です。学級担任の事務的負担軽減を図りつつ、保護者の負担軽減のためにも、事業の継続が必要と考えます。
--------------	---

事業名	中学校学級活動交付金
担当課等	学校施設課
事業概要	学級運営の充実と保護者の経済的負担の軽減を図るため、市立中学校に交付金を交付しました。
23年度実績	〈市立中学校全13校〉 462万1千円 生徒一人当たり補助額 745円
成果と課題・今後の取組等	学級活動に必要とする消耗品を購入するための交付金を交付することにより、学級運営の充実と保護者負担の軽減を図ることができました。また、平成24年度は交付金としてではなく、学校の事務軽減等のため、学校配当予算の消耗品費として配当する方法に変更しました。

点検・評価委員からの意見	・ 保護者の経済的な負担を軽減する事業として、継続を望みます。ただし、市民はどの程度補助されているのか、具体的には知らないと思われまので、理解を深めてもらうためにも、周知の方法等を工夫してほしいと思います。 ・ 学級担任が、生徒の自主性を伸ばし、創意ある学級づくりを進めていく上で、学級活動費は必要不可欠です。学級担任の事務的負担軽減を図りつつ、保護者の負担軽減のためにも、事業の継続が必要と考えます。
--------------	--



事業名	外国語指導助手派遣事業
担当課等	学校教育課
事業概要	新学習指導要領の完全実施に向けて、国際理解の素地を培い、コミュニケーション活動を中心とした英語教育の推進を図るため、市立小・中学校に英語を母語とする外国語指導助手を派遣しました。
23年度実績	派遣校 市立小・中学校全36校 派遣人数 小学校 3人、中学校 7人 派遣日数 小学校 550日・中学校 1,133日
成果指標	教員アンケートによる児童・生徒のコミュニケーション能力が向上した割合 75.0%
成果実績	教員アンケートによる児童・生徒のコミュニケーション能力が向上した割合 81.0%
成果と課題・今後の取組等	国際的共通語になっている英語のコミュニケーション能力を身に付けるためにALTを活用したことにより、英語への親しみと関心が高まったと考えられることから、今後も、事業の推進を図ります。

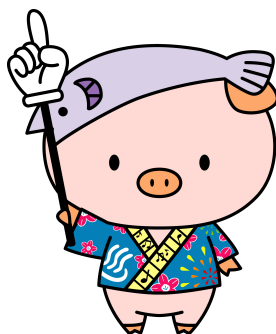
点検・評価委員からの意見	・ 中学校だけでなく小学校においても、英語教育を始め理数系の学力向上、また、情報教育等の重要性がより増してくると思われますが、何より児童・生徒の学習活動に直接働きかける、様々な人的支援事業（ALT・補助教員・非常勤講師・サポーター・ボランティア等）の更なる充実を図る必要があります。 ・ 小学校における外国語学習としての英語のコミュニケーション能力向上への取組は、ALTの活用を軸に着実に成果を上げているようですが、担任教諭への負担等を考えると、英語の言語力に優れた市民のより積極的な活用と導入を図るなど、教科指導に準じた対応を進めていくことが必要と思われます。 ・ ALTの活用は、児童・生徒にコミュニケーション能力を高めることの必要性を認識させ、国際理解の素地を培うため、大変有効であると思います。ALTと英語指導教員との連携の在り方や、指導方法を研究しつつ、事業を継続してほしいと思います。
--------------	--

事業名	小学校算数・理科教育推進事業
担当課等	学校教育課
事業概要	企業や大学の協力により、科学に対する興味・関心を高める実験などの体験活動を行います。また、小学校3～6年生の算数と理科を中心に、児童一人一人の学力の向上を図るため、市立小学校に算数・理科支援員を配置しました。
23年度実績	実施校 市立小学校全23校 協力企業・大学数 8企業・3大学
成果指標	児童アンケートによる児童の学習意欲の向上と基礎的・基本的な学習内容の定着度 80.0%
成果実績	児童アンケートによる児童の学習意欲の向上と基礎的・基本的な学習内容の定着度 95.8%
成果と課題・今後の取組等	理科離れが指摘されている状況において、理科好きな児童を増やす施策として、体験活動は効果的であったと考えます。 今後も、市内の大学や企業の協力を得ながら、積極的に実験教室を実施できるよう進めていきます。

点検・評価委員からの意見	小学校において、英語教育を始め理数系の学力向上、また、情報教育等の重要性がより増してくると思われますが、何より理数系の学力向上が大切だと思われますので、児童の学習活動に直接働きかける様々な人的支援事業（ALT・補助教員・非常勤講師・サポーター・ボランティア等）の更なる充実を図る必要があります。
--------------	---

事業名	小学校英語活動推進事業
担当課等	学校教育課
事業概要	小学校5・6年生の外国語活動の完全実施に伴い、指導計画、指導内容等を研究・実践し、その成果等を市立小・中学校に普及させました。
23年度実績	英語教育研究部会において、研究校(厚木第二小・愛甲小)が実践報告を行い、研究内容を市立全小・中学校に周知し、各学校の取組にいかすことができました。
成果指標	6年生へのアンケートによる関心・意欲・態度に関する充実度 80.0%
成果実績	6年生へのアンケートによる関心・意欲・態度に関する充実度 84.9%
成果と課題・今後の取組等	研究校が研究を進めるとともに、研究部会において成果を報告し、市立全小・中学校に周知することができました。 今後も、児童一人一人に対するきめ細かな学習指導のため、研究を継続していきます。

点検・評価委員からの意見	小学校において、英語教育を始め理数系の学力向上、また、情報教育等の重要性がより増してくると思われますが、何より児童の学習活動に直接働きかける様々な人的支援事業（ALT・補助教員・非常勤講師・サポーター・ボランティア等）の更なる充実を図る必要があります。
--------------	---



事業名	小中一貫教育モデル事業
担当課等	学校教育課
事業概要	確かな学力の向上を図るため、義務教育9年間の一貫性を持たせたカリキュラム等を研究・実践し、その成果等を市立小・中学校に普及させました。
23年度実績	2中学校区(相川中学校区(H22～H23)、玉川中学校区(H23～H24))において、児童・生徒の発達段階に応じた一貫性のある目標を設定し、継続的、発展的な指導を行うことができました。
成果指標	研究指定校への年度末アンケートによる小中一貫教育の充実度 80.0%
成果実績	研究指定校への年度末アンケートによる小中一貫教育の充実度 84.6%
成果と課題・今後の取組等	2中学校区において、発達段階に応じた一貫性のある目標を設定し、発展的な指導を行うことができました。 今後も、児童・生徒一人一人に対するきめ細かな学習指導のため、研究を継続していきます。

点検・評価委員からの意見	・ いわゆる幼・保から小、小から中へのスムーズなつながりを図るため、教員の交流、学習内容や指導体制(教科担任制など)のつながりについて、児童・生徒のつまづきやすい段差を少しでも取り除くための事業(試行・研究を含めて)を、一層充実していく必要があります。 ・ 児童・生徒が、小・中学校9年間を通して、確かな学力を効果的に身に付けることができるような教育実践は、大変有意義であると思います。今後も、発達段階に応じた一貫性のある学習目標を設定し、小・中学校の教員が交流を図りつつ、指導法の研究を推進してほしいと思います。
--------------	--

事業名	教科指導エキスパート派遣事業
担当課等	学校教育課
事業概要	生徒一人一人の実態に応じた指導を一層充実させるため、教科指導エキスパート指導員をモデル校に派遣し、その成果を市立小・中学校に普及しました。
23年度実績	教科 国語、配置校数 1校、配置人数 1人、配置日数 年間35日
成果指標	生徒アンケートによる生徒の学習意欲の向上と基礎的・基本的な学習内容の定着度 80.0%
成果実績	生徒アンケートによる生徒の学習意欲の向上と基礎的・基本的な学習内容の定着度 86.6%
成果と課題・今後の取組等	教科指導エキスパート指導員の派遣により、生徒一人一人の実態に応じた、きめ細かな学習指導を行うことができました。

点検・評価委員からの意見	中学校では、英語教育を始め理数系の学力向上、また、情報教育等の重要性がより増してくると思われますが、何より生徒の学習活動に直接働きかける様々な人的支援事業（ALT・補助教員・非常勤講師・サポーター・ボランティア等）の更なる充実を図る必要があります。
--------------	--



事業名	中学校への補助教員派遣事業
担当課等	学校教育課
事業概要	中学校1年生の数学と英語を中心に、授業中の個々へのアドバイスや休み時間等の学習相談を通して生徒一人一人の学力の向上を図るため、市立中学校に補助教員を配置しました。
23年度実績	派遣校 市立中学校全13校、派遣人数 42人
成果指標	生徒アンケートによる生徒の学習意欲の向上と基礎的・基本的な学習内容の定着度 80.0%
成果実績	生徒アンケートによる生徒の学習意欲の向上と基礎的・基本的な学習内容の定着度 83.7%
成果と課題・今後の取組等	生徒一人一人の実態に応じた、きめ細かな学習指導が実施できました。今後も、基礎的・基本的な学力の定着を図るため、事業を推進します。

点検・評価委員からの意見	中学1年という学習環境が大きく変わる学年において、英語と数学の授業に補助教員が配置されることにより、生徒は質問がしやすくなり、学習意欲が向上します。また、生徒一人一人の実態に応じた、丁寧な学習指導が可能となり、基礎・基本の定着、学力の向上に大変効果があるので、事業を是非継続してほしいと思います。
--------------	---

事業名	小学校「放課後あつぎ元気塾」実施事業
担当課等	学校教育課
事業概要	放課後の教室を利用し、小学校３年生の国語及び算数の基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るため、復習を中心とした個別の学習指導を行う、あつぎ元気塾講師を派遣しました。
23年度実績	実施校 市立小学校全23校、対象児童数 983人
成果指標	児童アンケートによる児童の学習意欲の向上と基礎的・基本的な学習内容の定着度 80.0%
成果実績	児童アンケートによる児童の学習意欲の向上と基礎的・基本的な学習内容の定着度 88.9%
成果と課題・今後の取組等	学習習慣の確立や基礎的・基本的な内容の定着が図られました。 今後も、基礎的・基本的な学力の定着を図るため、児童一人一人の実態に応じた、きめ細かな学習指導を実施します。

点検・評価委員からの意見	児童にとっては、きめ細かな指導を受けることができ、基礎・基本の定着や学力の向上に大変効果があるので、家庭学習(復習)の習慣を付けるためにも更なる事業の充実を図っていただきたいと思います。
--------------	---

事業名	厚木市SEL教育基金事業
担当課等	学校教育課
事業概要	確かな学力を身に付けた、心豊かで健康な児童・生徒を育成するため、厚木市SEL教育基金を活用しました。
23年度実績	携帯型学習機器配布校 市立中学校全13校 表彰実施校 市立小・中学校全36校 厚木こども科学賞応募作品数 小学生499点、中学生139点
成果指標	アンケート（学校）による事業の満足度 80.0%
成果実績	アンケート（学校）による事業の満足度 82.7%
成果と課題・今後の取組等	児童・生徒の個々の特性を評価し、「やる気」を喚起する事業や理科好きの児童・生徒を育成する事業等に活用できました。 さらには、基礎的な学力の定着や学習意欲の高揚も図ることができましたので、今後も、基金の趣旨を最大限にいかす事業展開に努めます。

点検・評価委員からの意見	表彰については、事務手続きも含めて方法などの工夫が必要だと考えます。
--------------	------------------------------------

事業名	元気アップスクール推進事業交付金（小学校）
担当課等	学校教育課
事業概要	小学校が地域とのきずなを大切にした特色ある学校づくりを推進し、子どもたちの生きる力の育成を図るため、基本予算のほかに、各小学校からの提案プランに基づき、必要な経費を交付しました。
23年度実績	交付校 市立小学校全23校
成果指標	地域人材や講師などの来校者数（中学校含む） 20,000人
成果実績	地域人材や講師などの来校者数（中学校含む） 26,810人
成果と課題・今後の取組等	地域の協力を得て、各学校の特色ある事業展開を推進することができました。今後も、特色ある学校づくりのために事業を継続します。

点検・評価委員からの意見	・ 各小学校にとって、地域に根ざした学校づくりや特色ある学校づくりの充実を図る上で、欠かすことのできない事業となっているため、継続と更なる充実を期待します。 ・ 各小学校の様々な課題に対応するためには、家庭・地域との連携を通じた信頼関係づくりが必要であり、各小学校の状況に応じた地域に開かれた学校づくり推進のために、本事業は重要であり成果も出ているので、今後も是非継続してほしいと思います。
--------------	--



事業名	元気アップスクール推進事業交付金（中学校）
担当課等	学校教育課
事業概要	中学校が地域とのきずなを大切にした特色ある学校づくりを推進し、子どもたちの生きる力の育成を図るため、基本予算のほかに、各中学校からの提案プランに基づき、必要な経費を交付しました。
23年度実績	交付校 市立中学校全13校
成果指標	地域人材や講師などの来校者数（小学校含む） 20,000人
成果実績	地域人材や講師などの来校者数（小学校含む） 26,810人
成果と課題・今後の取組等	地域に開かれた学校づくりを推進していくために、学習支援ボランティアや講師等の招へいを学校に促していきます。

点検・評価委員からの意見	・ 各中学校にとって、地域に根ざした学校づくりや特色ある学校づくりの充実を図る上で、欠かすことのできない事業となっているため、継続と更なる充実を期待します。 ・ 各中学校の様々な課題に対応するためには、家庭・地域との連携を通じた信頼関係づくりが必要であり、各中学校の状況に応じた地域に開かれた学校づくり推進のために、本事業は重要であり成果も出ているので、今後も是非継続してほしいと思います。
--------------	--

事業名	教育活動充実交付金（小学校）
担当課等	学校教育課
事業概要	市立小学校が、より良い教育活動の実践や特色のある学校づくりを推進するため、交付金を交付しました。
23年度実績	交付校 市立小学校全23校
成果と課題・今後の取組等	各小学校の特色ある事業展開や、教員の資質向上に資する研究活動を推進することができました。 今後も、地域との連携・信頼関係を基盤とした各小学校の教育の質の向上のため、事業を推進します。

点検・評価委員からの意見	各小学校の特色ある学校づくりを推進し、教育活動の充実を図るためには、教員の資質向上に向けた研究活動が大切となりますが、本事業はその裏付けとなるものなので、今後も継続してほしいと思います。
--------------	---

事業名	教育活動充実交付金（中学校）
担当課等	学校教育課
事業概要	市立中学校が、より良い教育活動の実践や特色のある学校づくりを推進するため、交付金を交付しました。
23年度実績	交付校 市立中学校全13校
成果と課題・ 今後の取組等	各中学校の特色ある事業展開や、教員の資質向上に資する研究活動を推進することができました。 今後も、地域との連携・信頼関係を基盤とした各中学校の教育の質の向上のため、事業を推進します。

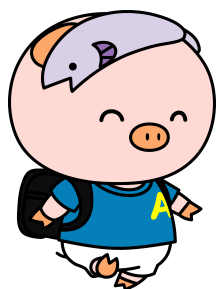
点検・評価委員からの意見	各中学校の特色ある学校づくりを推進し、教育活動の充実を図るためには、教員の資質向上に向けた研究活動が大切となりますが、本事業はその裏付けとなるものなので、今後も継続してほしいと思います。
--------------	---

事業名	教育活動補助員派遣事業費
担当課等	教職員課
事業概要	充実した教育活動を推進するため、市立小学校23校に教育活動補助員を派遣し、学級担任の補助を行いました。
23年度実績	派遣校 市立小学校全23校、派遣人数 31人
成果と課題・今後の取組等	教育活動補助員が、学習補助や給食・清掃指導などを補助することにより、落ち着いた学級運営に役立つだけでなく、校外活動の付き添いなどにより、児童の安全確保にも役立つことができました。 有効性や評価も高いことから、学校への人的な支援を整理・統合したうえで、さらに効果的な事業として継続していきます。

点検・評価委員からの意見	・ 小学校においては、英語教育を始め理数系の学力向上、また、情報教育等の重要性がより増してくると思われますが、何より児童の学習活動に直接働きかける様々な人的支援事業（ALT・補助教員・非常勤講師・サポーター・ボランティア等）の更なる充実を図る必要があります。 ・ 児童にとって学校生活や学習活動の定着を図る上で、必要な事業だと思います。また、幼小ギャップ解消のためにも、低学年には必要だと思います。
--------------	--

事業名	小学校少人数学級実施事業
担当課等	教職員課
事業概要	一人一人の児童に目が行き届いたきめ細かな指導を展開するため、標準学級編制で1学級が35人を超える小学校に非常勤講師を配置し、全小学校低学年を35人以下の学級編制としました。
23年度実績	実施校 市立小学校全23校
成果指標	アンケートによる児童・保護者の満足度 80.0%
成果実績	アンケートによる児童・保護者の満足度 95.7%
成果と課題・今後の取組等	少人数学級編制により、一人一人の児童に対応できる時間が増え、個々の児童の学習状況などの把握が容易になり、基礎学力の定着や授業での児童の発言機会の増加などがみられました。 今後も、きめ細かな教育の推進のため、事業の推進を図ります。

点検・評価委員からの意見	・ いわゆる幼・保から小へのスムーズなつながりを図るため、教員の交流、学習内容や指導体制（教科担任制など）のつながりについて、児童のつまずきやすい段差を少しでも取り除くための事業（試行・研究を含めて）を、一層充実していく必要があります。 ・ 小学校低学年の児童が、基本的な生活習慣や基礎学力を身に付け、一人一人が生き生きとした学校生活を送ることができるようにするためには、十分な配慮ときめ細かな指導が必要です。そのためにはこの事業は大変有効であり、今後も是非、継続強化を図ってほしいと思います。
--------------	--



事業名	小学校教科担任制推進事業
担当課等	教職員課
事業概要	市立小学校高学年の教科担任制を推進するため、専科指導を行う教員がいない普通学級8学級以下の小規模校に、非常勤講師を派遣しました。
23年度実績	実施校 市立小学校2校、派遣人数 2人
成果と課題・今後の取組等	学級担任以外の教員からも授業を受けることで、児童の学習意欲の向上がみられ、担任が非常勤講師と学習面や生活面について情報交換をすることができ、児童理解を深めることができました。 今後も、学力の向上を図るため、事業を継続していきます。

点検・評価委員からの意見	小から中へのスムーズなつながりを図るため、教員の交流、学習内容や指導体制（教科担任制）など、児童のつまづきやすい段差を少しでも取り除くための事業（試行・研究を含めて）を、一層充実していく必要があります。
--------------	--

事業名	中学校生徒支援推進事業
担当課等	教職員課
事業概要	生徒指導上課題のある学校において、生徒指導を担当する教員の授業数の軽減や複数での指導を行うため、非常勤講師を派遣しました。
23年度実績	派遣校 市立中学校3校、派遣人数 3人
成果と課題・今後の取組等	非常勤講師の派遣により、課題のある生徒に対して効果的な指導などを行うことができました。 今後も、落ち着いた学校生活や学力の向上を図るため、事業を継続していきます。

点検・評価委員からの意見	生徒指導上、様々な課題を抱えた学校においては、複数の教員が多くの時間を生徒の指導に充てている現状がありますが、非常勤講師の派遣により、よりきめ細かな指導の時間が確保され、学校全体の学習環境の向上に大きな効果があります。今後も、事業の継続と強化を図ってほしいと思います。
--------------	---

事業名	小中一貫教育推進事業
担当課等	教職員課
事業概要	小中一貫教育の研究指定校において、中学校教員が学区の小学校で授業をすることで小・中学校の連携を図るため、中学校に非常勤講師を派遣しました。
23年度実績	実施校 市立小・中学校各2校、派遣人数 2人
成果指標	研究指定校へのアンケートによる小中一貫教育の充実度 80.0%
成果実績	研究指定校へのアンケートによる小中一貫教育の充実度 69.3%
成果と課題・今後の取組等	小・中学校それぞれの教育の実際を知り、連携を深め、また、中学校の学習内容を踏まえた、関連性のある学習指導ができたことにより、小中一貫教育を推進する上で、大きな効果がありました。今後も、小・中学校の連携を一層効果的なものとしていくため、事業を継続します。

点検・評価委員からの意見	・ 小から中へのスムーズなつながりを図るため、教員の交流、学習内容や指導体制（教科担任制など）のつながりについて、児童・生徒のつまづきやすい段差を少しでも取り除くための事業（試行・研究を含めて）を、一層充実していく必要があります。 ・ 小・中学校の教員の連携強化を図る中で、義務教育9年間を見通した、効果的な学習指導の在り方の研究協議を続けてほしいと思います。また、その成果を更に広げるためにも事業の継続を望みます。
--------------	---

事業名	学校ICTサポーター事業
担当課等	教育研究所
事業概要	児童・生徒がICTを活用できるように支援するため、パソコンを使った授業の補助等を行う学校ICTサポーターを、市立小・中学校に配置しました。
23年度実績	配置人数 ICTサポーター6人 派遣回数 述べ596回（市立小・中学校全36校） 年間配置日数 各小学校18日、各中学校14日
成果指標	配置効果があったという教員の意見割合 90.0%
成果実績	配置効果があったという教員の意見割合 88.6%
成果と課題・今後の取組等	学校ICTサポーターの配置により、児童・生徒及び教職員が授業等で情報機器を支障なく利用することができました。 平成24年度についても、効果的な配置を行います。

点検・評価委員からの意見	・ 中学校だけでなく小学校においても、英語教育を始め理数系の学力向上、また、情報教育等の重要性がより増してくると思われますが、何より児童・生徒の学習活動に直接働きかける様々な人的支援事業（ALT・補助教員・非常勤講師・サポーター・ボランティア等）の更なる充実を図る必要があります。 ・ 児童・生徒や教職員が限られた時間の中で、情報機器を有効に活用できるようにするためには、学校ICTサポーターの配置は効果があり、今後も事業の継続が必要と思います。
--------------	--

事業名	小学校ICT化推進事業
担当課等	教育研究所
事業概要	ICTを活用した授業を展開することにより、児童に学習への興味を持たせ、「確かな学力」を身に付けさせるとともに、ICTを活用できる教育環境の向上を図りました。
23年度実績	合計利用時間数 10,728時間（市立小学校全23校） 1校平均利用時間数 466.4時間
成果指標	PCを活用した授業は分かりやすいという児童の意見の割合 85.0%
成果実績	PCを活用した授業は分かりやすいという児童の意見の割合 81.9%
成果と課題・今後の取組等	新しい配信デジタル教材について、市立各小学校において活用の推進を図りました。 今後も、確かな学力を身に付けるための適切なICT環境について、円滑で確実な利用のための保守管理等の充実を図ります。

点検・評価委員からの意見	各家庭における情報機器の普及率は、随分と高まってきていると思いますが、学習活動や生きる力の育成に向けて、ソフト面の能力向上も一層図っていく必要があります。
--------------	---



事業名	中学校ＩＣＴ化推進事業
担当課等	教育研究所
事業概要	ＩＣＴを活用した授業を展開することにより、生徒に学習への興味を持たせ、「確かな学力」を身に付けさせるとともに、ＩＣＴを活用できる教育環境の向上を図りました。
23年度実績	合計利用時間数 4,606時間（市立中学校全13校） 1校平均利用時間数 354.3時間
成果指標	ＰＣを活用した授業は分かりやすいという生徒の意見の割合 85.0%
成果実績	ＰＣを活用した授業は分かりやすいという生徒の意見の割合 74.2%
成果と課題・今後の取組等	配信デジタル教材を導入し、市立各中学校において活用の推進を図りました。 今後も、確かな学力を身に付けるための適切なＩＣＴ環境について、円滑で確実な利用のための保守管理等の充実を図ります。

点検・評価委員からの意見	各家庭における情報機器の普及率は、随分と高まってきていると思われますが、学習活動や生きる力の育成に向けて、ソフト面の能力向上も一層図っていく必要があります。
--------------	--

【基本方針1に対する点検・評価委員からの総括的意見】

厚木市の確かな学力を身に付ける教育を推進するための事業は、各小・中学校がそれぞれの学校の状況にあった事業を展開するために、有効に機能していると思います。また、児童・生徒の学習意欲を高め、一人一人に適したきめ細かな指導を行うための人的配置も様々な事業があり、効果は高いと思います。

今後も更に確かな学力の向上に向けて、各小・中学校への人的支援事業の継続強化を図っていただきたいと思います。

【点検・評価委員からの意見を受けての教育委員会の考え方】

確かな学力を身に付ける教育を推進するための各事業については、基礎的・基本的な学力の定着を図るため、児童・生徒一人一人に応じたきめ細かな学習指導を実施しており、今後も、学校の教育活動や児童・生徒の学習活動を積極的に支援することにより、児童・生徒の更なる学習内容の定着を図ってまいります。

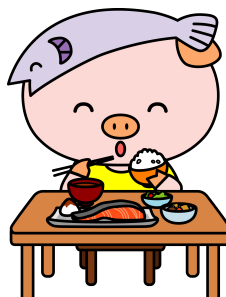


基本方針２ 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育を推進します。

基本方針２の実現のために取り組んだ主要事業

事業名	小児生活習慣病対策等啓発事業
担当課等	保健給食課
事業概要	児童・生徒の小児生活習慣病等の予防のため、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校関係者及び公募市民の皆様で構成する推進委員会を設置するとともに、ポスター等を作成し啓発活動を行いました。
23年度実績	会議開催回数 2回、啓発活動 リーフレット作成
成果指標	ローレル指数160以上の児童・生徒の割合 5.05%
成果実績	ローレル指数160以上の児童・生徒の割合 4.26%
成果と課題・今後の取組等	啓発リーフレットを作成し、小学6年生を対象に配布を行う等、十分な啓発活動を行いました。 また、成果指標であるローレル指数については、目標値を達成し、啓発活動の成果は得られたと考えられるため、平成23年度をもって事業を終了しました。

点検・評価委員からの意見	小児生活習慣病等の予防のために、様々な立場の関係者が推進委員会で話し合いを重ね、児童・生徒や保護者・教員への啓発活動を継続して行ってきた成果は得られたと思います。今後は、より重要となってきた他の課題への取組が必要と思います。
--------------	---



事業名	厚木小学校給食施設整備事業
担当課等	保健給食課
事業概要	厚木小学校の単独調理場建設を、平成23年度及び平成24年度の継続事業で実施します。
23年度実績	厚木小学校給食調理場新築工事について 杭工事完了 本体工事着工 平成24年度も継続 衛生工事着工 平成24年度も継続 監理委託 平成24年度も継続
成果指標	平成23年度までの単独調理場整備済校数 16校
成果実績	平成23年度までの単独調理場整備済校数 16校
成果と課題・今後の取組等	厚木小学校給食調理場新築工事における基礎工事が完了しました。今後も引続き施設の建設を実施し、平成25年1月末完成を目指します。

点検・評価委員からの意見	単独調理場が整備されることにより、食を通した教育の中で、調理が見える形の給食形態が推進されることが、児童にとって心身ともに健やかな成長につながると思われるので、今後も事業の継続を望みます。
--------------	--

事業名	学校給食への地場農産物導入事業
担当課等	保健給食課
事業概要	児童の食育に対する関心を高めるため、市立小学校の給食において、月2回「パクパクあつぎ産デー」として、地元の農産物を給食に使用しました。
23年度実績	市立全小学校において、月2回「パクパクあつぎ産デー」として学校給食に地元の農産物を使用
成果指標	市立小学校全23校での実施回数 11回
成果実績	市立小学校全23校での実施回数 11回
成果と課題・今後の取組等	地元の農産物を使用し、地域の特色をいかした献立（郷土料理等）の多様化を図ることにより、厚木市の農業や歴史・文化・風習を学習する教育的効果が得られました。 今後も引続き、月2回、地場農産物を活用した学校給食を実施していきます。

点検・評価委員からの意見	地元農産物の活用は、子どもたちに地域とのつながりを意識させる効果は大きいと考えます。今後は、事業の継続を望むとともに、生産者の顔が見えることは食の安全にもつながるので、学校ごとにその地域の食材を学校給食にいかしてほしいと思います。
--------------	--

事業名	郷土資料館活動推進事業
担当課等	文化財保護課
事業概要	多くの市民に郷土の歴史や文化等を伝えるため、郷土資料館で収蔵している資料等を活用し、展示や講座を開催しました。
23年度実績	収蔵資料展、ミニ展示、ホール展示、講座、観察会、講演会、出前展示等を実施しました。
成果指標	日常来館者及び行事参加者人数 7,300人
成果実績	日常来館者及び行事参加者人数 12,090人
成果と課題・今後の取組等	収蔵している資料を活用した各種展示会や講座、講演会などを開催し、多くの市民の皆様へ、郷土の歴史や文化について伝えることができました。また、公民館での出前展示や小学校への出前講座などを実施して、資料公開の機会を増やすことができました。今後も、郷土の歴史や文化を伝えるため、展示や講座などに一層の工夫をしたいと思います。

点検・評価委員からの意見	各学校への出前展示などの工夫次第で、郷土厚木の歴史・文化・自然等への興味・関心を一層高めるきっかけになると考えます。
--------------	--

事業名	郷土資料館特別展示事業
担当課等	文化財保護課
事業概要	多くの市民に郷土の歴史や文化等を伝えるため、調査や研究等によって得た、歴史・民俗・自然の分野に関する資料を展示しました。
23年度実績	第15回特別展「あつぎ・あきのむし」開催
成果指標	特別展来館者人数 1,150人
成果実績	特別展来館者人数 805人
成果と課題・今後の取組等	身近な山野、街中に生息する昆虫のうち、秋に出現のピークがあるアカトンボ、バッタ、カマキリなどを中心に標本、生体飼育、写真などで紹介し、厚木の自然への理解を深めることができました。また、新たな試みとして学芸員が展示室に常駐し、求めに応じて質問などを気軽にできるよう配置しました。今後も、特別展示を通して、郷土厚木の文化や自然について、多くの市民の皆様に伝えていけるよう、企画や展示に一層の工夫をしたいと考えます。

点検・評価委員からの意見	各学校への出前展示などの工夫次第で、郷土厚木の歴史・文化・自然等への興味・関心を一層高めるきっかけとなると考えます。
--------------	--

事業名	ブックスタート事業
担当課等	中央図書館
事業概要	赤ちゃんの言葉と心を育むため、0歳児を持つ保護者の方に、絵本やブックリストを手渡ししながら、赤ちゃんと周りの大人がふれあい、言葉と心を通わすことの大切さや楽しさを伝えました。
23年度実績	児童館・公民館・中央図書館・ポリオ予防接種会場（保健センター）等においてブックスタートを開催した。
成果指標	参加する赤ちゃんの人数 1,000人
成果実績	参加する赤ちゃんの人数 947人
成果と課題・今後の取組等	ポリオの予防接種について、不活性化ワクチンの導入待ちによる接種見合わせが多く、ポリオ予防接種会場における参加者が減ったため、成果指標を上回ることができませんでした。 平成24年度は、不活性化ワクチンの導入が決定しているため、参加者が増加する見込みです。

点検・評価委員からの意見	- 子どもたちにとって、読書活動は心を育むとても大切な活動の一つであります。ブックスタートから始まり、読み聞かせから読書へとつないでいく道づくりとして、更なる充実を期待します。 - 赤ちゃんの言葉と心を育み、0歳児を持つ保護者同士の触れ合いの機会としても有効な事業であると思います。今後は、予防接種会場での開催を増やすことにより、多くの保護者に事業を周知するとともに、言葉の発達において、より大切な時期である1歳児も対象にして、事業を継続してほしいと思います。
--------------	---

事業名	子ども読書活動推進事業
担当課等	中央図書館
事業概要	「読書大好きあつぎっ子」を育成するため、家庭における読み聞かせを推進する公演やおはなし会等を実施しました。子どもの読書活動を支援するためのボランティア養成講座やスキルアップのための講座を開催し、読書ボランティアの方と一緒に読書活動を推進しました。
23年度実績	子どもを対象とした行事として208回、ボランティア養成講座等を3回開催しました。
成果指標	事業への参加者数 5,500人
成果実績	事業への参加者数 5,352人
成果と課題・今後の取組等	東日本大震災のため4月～5月に予定していた行事が中止になり、成果指標を達成することができませんでしたが、昨年度実績(4,946人)は上回ることができました。 今年度も、親子で参加可能な読書活動推進行事等を開催するとともに、ボランティアの技能向上を図る講座を開催します。 また、第2次子ども読書活動推進計画策定のため、広く市民の皆様の意見を伺うワークショップを開催します。

点検・評価委員からの意見	子どもたちにとって、読書活動は心を育むとても大切な活動の一つです。ブックスタートから始まり、読み聞かせから読書へとつないでいく道づくりとして、更なる充実を期待します。
--------------	--

事業名	心の教育事業
担当課等	青少年教育相談センター
事業概要	児童・生徒の悩み、不安、ストレスなどを和らげ、心にゆとりが持てるようにするため、心の教室相談員を市立小・中学校に配置しました。
23年度実績	配置校 市立小・中学校全36校 来室者数 42,819人（小学校27,701人、中学校15,118人）
成果指標	相談件数 5,000人
成果実績	相談件数 3,941人（小学校 2,288件、中学校 1,653件）
成果と課題・今後の取組等	心の教室については、年間延べ40,000人以上の児童・生徒等が来室し、校内での居場所、話し相手として十分に機能しました。 その一方で、小学校にスクールカウンセラーを派遣するようになり、小学校の心の教室相談員が受ける相談件数は減少しています。 今後は、職務を広げ、相談や話し相手だけでなく、登校や学習の支援を行い、児童・生徒の意欲の向上が図られるような事業展開を進めていきます。

点検・評価委員からの意見	・ どの児童・生徒も、大小は別にして、必ず悩みや不安を持っているということを前提にして、これらの事業に取り組んでいくことが必要です。各学校に相談員やスクールカウンセラーの派遣、電話やメールでの相談窓口の開設、相談指導教室や適応指導ルームの設置、また、児童・生徒ばかりでなく教職員も対象にした相談対応等、多くの事業が推進されており、早期発見、早期対応、早期改善・回復の流れづくりに向けた一層のバックアップ体制づくりの充実を期待します。 ・ 心の教室は、各小・中学校において、様々な悩みや不安・ストレス等を抱える児童・生徒の居場所として十分に機能し、相談員の支援により登校ができるようになった例も大変多いと思います。今後も、スクールカウンセラーとは別に、日々継続して一人一人の児童・生徒のニーズに適した支援ができるような事業の継続強化を望みます。
--------------	--

事業名	青少年教育相談事業
担当課等	青少年教育相談センター
事業概要	児童・生徒とその保護者及び学校や教職員が抱える問題の解決のため、来所、電話、メール等による相談活動を行いました。
23年度実績	来所相談 3,706件、電話相談 315件、メール相談 6件
成果指標	継続相談終結率 50.0%
成果実績	継続相談終結率 56.7%
成果と課題・今後の取組等	相談内容は複雑・多様化していますが、小・中学校との積極的な連携により、主訴解消について一定の成果を得られたと考えます。 今後も、心理相談員の研修を深め、対応能力向上を図るとともに、効果的な他機関連携が実現できるように事業展開を図ります。

点検・評価委員からの意見	・ どの児童・生徒も、大小は別にして、必ず悩みや不安を持っているということを前提にして、これらの事業に取り組んでいくことが必要です。各学校に相談員やスクールカウンセラーの派遣、電話やメールでの相談窓口の開設、相談指導教室や適応指導ルームの設置、また、児童・生徒ばかりでなく教職員も対象にした相談対応等、多くの事業が推進されており、早期発見、早期対応、早期改善・回復の流れづくりに向けた一層のバックアップ体制づくりの充実を期待します。 ・ 児童・生徒一人一人が、明るく生き生きとした学校生活を送ることができるよう、保護者と教職員の信頼関係を高め、問題解決を図るために、本事業の専門的な相談活動は、大変有効であると思います。
--------------	---

事業名	登校支援推進事業
担当課等	青少年教育相談センター
事業概要	不登校を始めとする児童・生徒の心の問題への早期対応のため、市立小学校へのスクールカウンセラーの派遣や、登校支援相談員による訪問相談を行いました。
23年度実績	スクールカウンセラー派遣 17校、派遣回数 304回 登校支援相談員による訪問回数 745回
成果指標	不登校児童・生徒改善率 73.0%
成果実績	不登校児童・生徒改善率 66.9%
成果と課題・今後の取組等	不登校対策に重点的に取り組む実践協力校が増え、小学校へのスクールカウンセラー派遣が拡大したことにより、校内における相談体制が充実してきたものと考えられます。また、登校支援相談員の活動により、不登校児童・生徒の学校復帰が図られました。 今後も、不登校の早期発見・早期対応、未然防止を目指して、児童・生徒の心の問題に寄り添い、学校との連携を密に取りながら事業展開を進めていきます。

点検・評価委員からの意見	・ どの児童・生徒も、大小は別にして、必ず悩みや不安を持っているということを前提にして、これらの事業に取り組んでいくことが必要です。各学校に相談員やスクールカウンセラーの派遣、電話やメールでの相談窓口の開設、相談指導教室や適応指導ルームの設置、また、児童・生徒ばかりでなく教職員も対象にした相談対応等、多くの事業が推進されており、早期発見、早期対応、早期改善・回復の流れづくりに向けた一層のバックアップ体制づくりの充実を期待します。 ・ 不登校児童・生徒への対応については、相談・支援を始め、解決に向けて多くの手段がとられていると思われますが、不登校には様々な原因が考えられるため、幅広い視野での対応を望みます。 ・ 児童・生徒の不登校問題は、各小・中学校において大きな課題となっていますが、相談体制は充実してきていると思います。不登校の未然防止、早期対応、早期解決のためには、教職員の意識改革と協力体制、保護者、関係機関との連携等が必要ですが、そのためには時間確保も含めた人的支援が必要です。一人一人の児童・生徒に日々、密に寄り添うことができるよう、派遣訪問回数等を含めた事業の継続強化が必要であると思います。
--------------	--

事業名	適応指導教室運営事業
担当課等	青少年教育相談センター
事業概要	不登校児童・生徒が、小集団での学習や体験活動を通して心の安定を図り、自信を取り戻して学校や社会生活に適応していけるようにするため、個に応じた支援や学習指導を行いました。
23年度実績	相談指導教室通室生人数 11人（中学生） 適応指導ルーム通室生人数 13人（中学生）
成果指標	在籍校復帰率 46.0%
成果実績	在籍校復帰率 79.2%
成果と課題・今後の取組等	対人関係に様々な課題を抱えている不登校児童・生徒に対して、体験的活動を多く取り入れた行事や、きめ細かな学習指導、小集団活動などによる適応指導を推進してきた成果として、部分登校を含め多くの児童・生徒が、学校への登校ができるようになりました。 今後も、安心して居られる居場所としての存在から、更に学校復帰や社会的自立につながるような指導方法の工夫をし、効果的な事業展開を進めていきます。

点検・評価委員からの意見	・ どの児童・生徒も、大小は別にして、必ず悩みや不安を持っているということを前提にして、これらの事業に取り組んでいくことが必要です。各学校に相談員やスクールカウンセラーの派遣、電話やメールでの相談窓口の開設、相談指導教室や適応指導ルームの設置、また、児童・生徒ばかりでなく教職員も対象にした相談対応等、多くの事業が推進されており、早期発見、早期対応、早期改善・回復の流れづくりに向けた一層のバックアップ体制づくりの充実を期待します。 ・ 不登校児童・生徒への対応については、相談・支援を始め、解決に向けて多くの手段がとられていると思われますが、不登校には様々な原因が考えられるため、幅広い視野での対応を望みます。 ・ 人間関係づくりを苦手とし、様々な課題を抱えて不登校となっている児童・生徒が、適応指導教室における、きめ細かな学習指導や体験活動を通して、自分の居場所を見だし、主体的に行動できるようになるなど、この事業の成果は非常に大きいと思います。 今後も一人一人に適した社会的自立のための支援を、強力に推進してほしいと思います。
--------------	---

【基本方針2に対する点検・評価委員からの総括的意見】

児童虐待や不登校の問題は非常に深刻で、児童・生徒と担任や担当教員だけでは早期の十分な解決が困難な場合が多いと思います。そこでこれらの事業を通して、早期の発見ができるような実践的な教員研修と、児童・生徒の心に寄り添うことができるような教員の資質向上・意識改革の研修を重ねることにより、小・中学校の教員が、専門機関への早期相談と連携の必要性を認識した日々の教育活動が行われるよう、事業の更なる推進を望みます。

【点検・評価委員からの意見を受けての教育委員会の考え方】

児童・生徒の不登校について、相談内容が多岐にわたり、より複雑になる中、専門機関などと連携することで、相談体制の充実を図ります。

学校給食に地場農産物を月2回使用するなど、今後も地場農産物を学校給食に進め、食を通して豊かな心と健やかな体を育む教育を推進してまいります。

現在、平成25年度からの給食費公会計化実施に向けて準備を進めており、教職員の負担軽減を図ることで、児童・生徒に向き合う時間を増やし、より一層きめ細やかな指導ができるよう努めてまいります。

豊かな心と健やかな体を育むためにも、読書活動に触れることは大切であり、そのための環境整備を今後も進めてまいります。



基本方針3 教職員の資質・能力と組織力の向上を通して、信頼される学校づくりを推進します。

基本方針3の実現のために取り組んだ主要事業

事業名	教育調査研究部会運営事業
担当課等	教育研究所
事業概要	教育の新たな動向や今日的な課題に対応するため、教職員や市民の皆様などで構成する研究部会をテーマごとに設け、毎月1回部会を開き、課題解決に向けての調査研究や、教材・資料の作成を行いました。
23年度実績	教育調査研究部会 4部会設置・運営 部会開催延べ回数 48回(4部会合計) 研究に携わった教職員・市民 27人
成果指標	研究会参加者による研究成果の実用度 78.0%
成果実績	研究会参加者による研究成果の実用度 81.5%
成果と課題・今後の取組等	教育の場における様々な課題や新たな教育の動向について、具体的な方策を提起しました。 今後も、今日的課題等について研究を積み重ね、研究成果を発信し、教職員の質の向上を高めるため、事業を推進します。

点検・評価委員からの意見	教育の今日的課題に対応するテーマごとの研究部会では、様々な立場での意見交換や調査研究が活発に行われていて、その研究成果の発表方法も含め、教職員の広い視野を養い、資質・能力の向上に役立っていると思います。
--------------	---

事業名	教育資料提供事業
担当課等	教育研究所
事業概要	家庭・学校・地域社会における教育を支援するため、児童・生徒用の教材や研究の成果をまとめた研究紀要等を作成・提供しました。また、教職員の実践をまとめた教育実践記録集の発行や、教育に関する資料の収集・提供を行いました。
23年度実績	小学校社会科副読本・地形図 2,300部発行 中学校地域学習ワークブック・地図 2,300部発行 研究紀要84集 1,000部発行、教育実践記録38集 300部発行
成果と課題・今後の取組等	新学習指導要領の完全実施を踏まえた中学校社会科副読本の全面改訂を始め、社会情勢等による教育環境の変化に対応するための最新の教育資料や、教材を収集・提供しました。 今後も、教職員の質の向上を図るため、様々な教育的ニーズや今日的課題についての研究成果を発信していきます。

点検・評価委員からの意見	最新の情報を取り入れた児童・生徒用の副読本教材は、大変有効で実用的であると思います。 今後も、新学習指導要領の完全実施を受けた実践的指導方法や課題・解決方法等を、自己研修時間のなかなか取れない教職員にも、取り組みやすい形での情報・資料提供を望みます。
--------------	---



事業名	先生のための研修事業
担当課等	教育研究所
事業概要	教職員の指導力向上を支援するため、教育課題研修講座、教科指導研修講座、理科実験講座、先生のための寺子屋講座及びICT活用研修講座や教育研究発表会・教育講演会を開催しました。
23年度実績	開催数 21回、参加教職員数 566人(延べ1,023人)
成果指標	研修の参加率 50.0%
成果実績	研修の参加率 52.1%
成果と課題・今後の取組等	教育研究発表会や各種の希望制研修等により、教職員の意欲や資質の向上を図りました。経験年数にかかわらず、若手とベテランが学校間を越えた専門的な課題等を共に学び合う場合は、とても活気があります。 今後も、参加しやすい状況を考慮して事業を推進します。

点検・評価委員からの意見	・ 小・中学校教職員が、各種研修講座に自ら参加を希望し、指導等に係る資質の向上を図ろうとする意欲は高いと感じます。多忙な教職員が少しでも参加しやすくなるよう、研修講座の開催日時や講座の内容、また、教育相談体制等の更なる工夫・改善を通し、本事業の充実・発展を望みます。 ・ 様々な今日的な教育ニーズに対応した研修事業への参加を通して、教職員の意欲や資質の向上を図ることは、各学校の活発な教育活動の実践につながります。 今後も多くの教職員が参加しやすい環境づくりを検討しつつ、事業を推進してほしいと思います。
--------------	--

事業名	先生のための教育相談事業
担当課等	教育研究所
事業概要	教職員を対象に、仕事や心の悩み、教育活動上の諸問題、授業づくりに関する事等の相談に対応するため、教育研究所を窓口として、来所相談・電話相談・訪問相談を行いました。
23年度実績	相談件数 183件 授業力向上等の学校訪問 50件 教職員からの教育情報等の相談 130件 市民からの教育相談 3件
成果と課題・今後の取組等	教職員の仕事や心の悩みなどを気軽に相談できる窓口の設置や、来所相談、電話相談、学校訪問などにより教職員の支援を行いました。 今後も、学校教育課や青少年教育相談センター、教職員課と連携し、相談しやすい状況を考慮し、事業を推進します。

点検・評価委員からの意見	・ 小・中学校教職員が、各種研修講座に自ら参加を希望し、指導等に係る資質の向上を図ろうとする意欲は高いと感じます。多忙な教職員が少しでも参加しやすくなるよう、研修講座の開催日時や講座の内容、また、教育相談体制等の更なる工夫・改善を通し、本事業の充実・発展を望みます。 ・ 多様化する価値観の中で、教育を進めていくことの難しさが、ますます高まっています。現場の先生方が苦慮する事柄も多く、特に保護者との関係づくりも、かつてに比べ大変さが増しています。教職員がもっと気軽に相談できる体制と窓口の創設が必要と思われます。
--------------	--

事業名	先生のためのにぎわい処事業
担当課等	教育研究所
事業概要	多くの教職員が教育研究所を利用できるように、毎月1回、金曜日に研究所を夜間開放し、教育図書や資料が自由に閲覧できるようにします。また、ミニ講座を開催するなど、自己研さんの場を提供しました。
23年度実績	実施回数 10回、参加人数 延べ47人
成果と課題・今後の取組等	教職員の自己研さんの場として教育研究所を夜間開放し、実践意欲や資質の向上を図りました。 今後も、参加しやすい状況を考慮して事業を推進します。

点検・評価委員からの意見	小・中学校教職員が、各種研修講座に自ら参加を希望し、指導等に係る資質の向上を図ろうとする意欲は高いものを感じます。多忙な教職員が少しでも参加しやすくなるよう、研修講座の開催日時や講座の内容、また、教育相談体制等の更なる工夫・改善を通し、本事業の充実・発展を望みます。
--------------	---

【基本方針3に対する点検・評価委員からの総括的意見】

年間数多く実施されている教職員対象の研修事業は、毎年内容も工夫されていて、参加者の意欲を高め、指導力向上に大変役立っていると思います。

今後も、教職員が今日的教育課題を十分把握し、児童・生徒・保護者の多様なニーズに日々対応する際に、自信を持って指導できるような実践的研修を、更に推進してほしいと思います。

【点検・評価委員からの意見を受けての教育委員会の考え方】

教育現場において、様々な課題解決のため各種研修や相談窓口などの支援が実施できたと考えております。

今後も、自ら学び続ける教職員の意欲と指導力アップのためにサポートをするとともに、教職員の仕事の悩みなどを気軽に相談できる環境づくりに努めます。

児童・生徒の確かな学力の向上には、教職員の資質・能力と組織力の向上も必要であり、そのためにも教職員が、自ら学び鍛えることができる環境を今後も整備してまいります。

基本方針4 課題やニーズに対応した教育環境の整備・充実を図ります。

基本方針4の実現のために取り組んだ主要事業

事業名	小学校校舎・体育館改修事業
担当課等	学校施設課
事業概要	児童が清潔で快適な教育環境の中で学校生活を送れるように、トイレの改修工事等を重点的に進めました。
23年度実績	トイレ改修 6校（依知南小、荻野小、玉川小、飯山小、南毛利小、鳶尾小）
成果指標	トイレ改修の実施棟数 6棟
成果実績	トイレ改修の実施棟数 6棟
成果と課題・今後の取組等	校舎のトイレ改修工事を行い、清潔で快適な施設環境を確保しました。 今後も、コストの縮減などの検討をするとともに、計画的な改修を行っていきます。

点検・評価委員からの意見	小学校のトイレが、明るく清潔で、快適な施設に改修されることにより、児童が安心して生き生きとした学校生活を送ることができるようになるので、事業の継続推進を望みます。
--------------	---



事業名	中学校校舎・体育館改修事業
担当課等	学校施設課
事業概要	生徒が清潔で快適な教育環境の中で学校生活を送れるよう、トイレの改修工事等を重点的に進めました。
23年度実績	トイレ改修 4校（睦合中、小鮎中、東名中、荻野中）
成果指標	トイレ改修の実施棟数 6棟
成果実績	トイレ改修の実施棟数 6棟
成果と課題・今後の取組等	校舎のトイレ改修工事を行い、清潔で快適な施設環境を確保しました。 今後も、コストの縮減などの検討をするとともに、計画的な改修を行っていきます。

点検・評価委員からの意見	・ 中学校は、生徒が一日の大半を3年間過ごす場であり、物理的にも精神的にも、子どもたちの成長に大きな影響を与えています。施設の整備は、多額の予算を必要としますが、市内13校を広く見通して、計画的に物的環境の改修や設置を進めていただきたいと思います。 ・ 中学校のトイレが、明るく清潔で、快適な施設に改修されることにより、生徒が安心して生き生きとした学校生活を送ることができるようになるので、事業の継続推進を望みます。
--------------	---

事業名	小学校体育施設整備事業
担当課等	学校施設課
事業概要	安全で快適な体育施設環境を保つため、老朽化したプールの改修設計委託を実施しました。
23年度実績	プール改修設計（北小学校プール改修設計）
成果指標	設計一式 1棟
成果実績	設計一式 1棟
成果と課題・今後の取組等	老朽化が目立つプールの改修を実施し、安全かつ快適な施設環境を確保するため、プール改修設計委託を実施しました。

点検・評価委員からの意見	小学校は、児童が一日の大半を6年間過ごす場であり、物理的にも精神的にも、児童の成長に大きな影響を与えています。施設の整備は、多額の予算を必要としますが、市内23校を広く見通して、計画的に物的環境の改修や設置を進めていただきたいと思います。
--------------	--

事業名	小学校普通教室冷暖房設備設置事業
担当課等	学校施設課
事業概要	快適な学習環境の整備を図るため、市立小学校の普通教室に冷暖房設備を設置するための調査を行いました。
23年度実績	小学校全校への冷暖房設備の整備を、効果的かつ効率的に推進するため、整備手法やエネルギー方式、必要となる費用、想定されるスケジュール等を検討するため、調査委託を行いました。
成果指標	冷暖房設備の設置 調査
成果実績	冷暖房設備の設置 調査
成果と課題・今後の取組等	調査した結果、エネルギー方式（電気方式・ガス方式）によるコスト面のメリット・デメリットのほか、各種整備手法（従来型方式、設計・施工一括方式、P F I 方式など）によるコスト面や整備期間、事業参画などについて、メリット・デメリットの把握ができました。 今後、この調査結果を踏まえ、エネルギー需給動向も注視し、様々な観点から検討を進め、具体的な整備方針を検討してまいります。

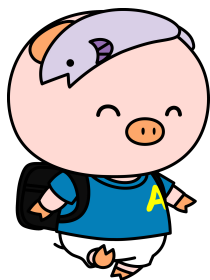
点検・評価委員からの意見	温暖化が進む中、児童の学習環境の整備を図ることは重要であると思いますが、エネルギー問題やコスト面等、様々な観点から十分な調査・検討を行い、整備事業の方向性を決めてほしいと思います。
--------------	---

事業名	中学校普通教室冷暖房設備設置事業
担当課等	学校施設課
事業概要	快適な学習環境の整備を図るため、市立中学校の普通教室に冷暖房設備を設置するための調査を行いました。
23年度実績	中学校全校への冷暖房設備の整備を、効果的かつ効率的に推進するため、整備手法やエネルギー方式、必要となる費用、想定されるスケジュール等を検討するため、調査委託を行いました。
成果指標	冷暖房設備の設置 調査
成果実績	冷暖房設備の設置 調査
成果と課題・今後の取組等	調査した結果、エネルギー方式（電気方式・ガス方式）によるコスト面のメリット・デメリットのほか、各種整備手法（従来型方式、設計・施工一括方式、P F I 方式など）によるコスト面や整備期間、事業参画などについて、メリット・デメリットの把握ができました。 今後、この調査結果を踏まえ、エネルギー需給動向も注視し、様々な観点から検討を進め、具体的な整備方針を検討してまいります。
点検・評価委員からの意見	温暖化が進む中、児童・生徒の学習環境の整備を図ることは重要であると思いますが、エネルギー問題やコスト面等、様々な観点から十分な調査・検討を行い、整備事業の方向性を決めてほしいと思います。

事業名	高等学校等修学旅行費支援金
担当課等	学校教育課
事業概要	経済的な理由により修学旅行に参加することが困難な生徒又はその保護者に、経費の一部を支給しました。
23年度実績	認定者 160人、支給額 8,000,000円
成果指標	支援金受給者の修学旅行参加率 100.0%
成果実績	支援金受給者の修学旅行参加率 100.0%
成果と課題・今後の取組等	経済的な理由で修学旅行への参加が難しい生徒やその保護者に対し、修学旅行費の一部を支給することにより、生涯の思い出づくりをサポートし、生徒たちの学校生活の充実につなげることができたと考えます。
点検・評価委員からの意見	近年の社会的・経済的状況により、修学旅行に参加することが困難な生徒が、増加していると思います。 今後も、このような生徒が友達とともに行事に参加し、充実した学校生活を継続することができるよう事業の推進を望みます。

事業名	児童・生徒登下校等安全推進事業
担当課等	学校教育課
事業概要	児童・生徒が安心して登下校できるようにするため、防犯ブザーの配布や学童通学誘導員の配置等を行いました。
23年度実績	市立小学校全23校 配布実績 防犯ブザー計3,800個
成果指標	児童の防犯ブザー携帯率 90.0%
成果実績	児童の防犯ブザー携帯率 73.2%
成果と課題・今後の取組等	学童通学誘導員については、市内小学校通学路を再調査し、1箇所増員しました。（市内小学校通学路計6箇所配置） また、防犯ブザーについては、ポスターの掲示や、学校を通じた指導等の対策を講じて携帯率を向上させていきます。

点検・評価委員からの意見	・ 防犯ブザーは、小さくてもいざという時の命を守ってくれる道具なので、児童・生徒の意識を高めて、少しでも携帯率を上げる工夫を図っていただきたいと思います。 ・ 災害時の緊急対応については、全体的な対応策と各学校に応じた対応策を早急に見直すとともに、教職員一人一人の危機管理意識を高めることが必要だと思います。 ・ 児童の登下校時の安全確保を図るため、通学路の歩道及びガードレールの整備の必要箇所を再確認し、設置を進めていただきたいと思います。
--------------	---



事業名	要保護及び準要保護児童就学援助事業（小学校）
担当課等	学校教育課
事業概要	教育の機会均等を図るため、経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に、学用品費などの経費の一部を支給しました。
23年度実績	準要保護者 2,107人、要保護者 109人、支給額 123,792,906円
成果指標	就学援助受給者の就学率 100%
成果実績	就学援助受給者の就学率 100%
成果と課題・今後の取組等	経済的な理由により、就学が困難な児童の保護者に対して、制度の周知徹底を図ったことで、多くの保護者を支援することができました。なお、受給者数の推移は、横ばいの傾向にあり、今後も継続的な支援が必要だと考えています。

点検・評価委員からの意見	経済的な理由により就学困難な家庭は、ますます増加していると思います。教育格差を生じさせないために、今後も本事業による継続的な支援が必要と思います。
--------------	---

事業名	要保護及び準要保護生徒就学援助事業（中学校）
担当課等	学校教育課
事業概要	教育の機会均等を図るため、経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者に、学用品費などの経費の一部を支給しました。
23年度実績	準要保護者 1,178人、要保護者 74人、支給額 103,036,986円
成果指標	就学援助受給者の就学率 100.0%
成果実績	就学援助受給者の就学率 100.0%
成果と課題・今後の取組等	経済的な理由により、就学が困難な生徒の保護者に対して、制度の周知徹底を図ったことで、多くの保護者を支援することができました。なお、受給者数の推移は、年々増加の傾向にあり、今後も継続的な支援が必要だと考えています。

点検・評価委員からの意見	経済的な理由により就学困難な家庭は、ますます増加していると思います。教育格差を生じさせないために、今後も本事業による継続的な支援が必要と思います。
--------------	---

事業名	小学校特別支援学級等就学奨励事業
担当課等	学校教育課
事業概要	教育の機会均等を図るため、特別支援学級等に就学する児童の保護者に、学用品費などの経費の一部を支給しました。
23年度実績	特別支援学級通級者 117人、ことばの教室通級者 41人 支給額 3,846,960円
成果と課題・今後の取組等	保護者の経済的負担が軽減できたとともに、教育環境の水準を維持できたと考えます。 経済的な理由による就学が困難な児童の割合は増えており、教育機会均等を進める上でも重要な事業と考えますので、今後も継続的な支援をしていく必要があると考えます。

点検・評価委員からの意見	教育の機会均等を図る上で、保護者や教職員にとって有効な事業だと思います。今後も事業の継続を望みます。
--------------	--

事業名	中学校特別支援学級就学奨励事業
担当課等	学校教育課
事業概要	教育の機会均等を図るため、特別支援学級に就学する生徒の保護者に、学用品費などの経費の一部を支給しました。
23年度実績	特別支援学級通級者 62人、支給額 2,738,622円
成果と課題・今後の取組等	保護者の経済的負担が軽減できたとともに、教育環境の水準を維持できたと考えます。 経済的な理由による就学が困難な生徒の割合は増えており、教育機会均等を進める上でも重要な事業と考えますので、今後も継続的な支援をしていく必要があると考えます。

点検・評価委員からの意見	教育の機会均等を図る上で、保護者や教職員にとって有効な事業だと思います。今後も事業の継続を望みます。
--------------	--

事業名	市史編さん事業
担当課等	文化財保護課
事業概要	本市の歴史の変遷を後世に継承するため、厚木市史の発刊を目指し、歴史資料の調査、収集、分類及び整理を行いました。
23年度実績	平成25年度刊行予定の厚木市史民俗編（1）民俗記録集の編さんに向け、資料収集、選定、解説、清書等を実施。 厚木市史たより2～5号発行 市史歴史講演会「游相日記と厚木」を開催 参加者120人
成果と課題・今後の取組等	現在までに厚木市史の本編11巻のほか厚木市史たより1～5号を発刊することができました。 平成40年度全20巻刊行を目指し、今後は、市史編集委員の執筆体制の充実を図り、2年に1度の発刊を確実に継続していきます。また、多くの方に事業を知っていただくため、歴史講演会の開催や厚木市史たよりの発行を継続して実施します。

点検・評価委員からの意見	市の歴史について、子ども用ダイジェスト版のようなものがあると、学校などで活用でき、事業のより一層の充実が見込まれると思います。
--------------	---

事業名	就学指導事業
担当課等	学校教育課
事業概要	特別な支援を必要とする児童・生徒の適切な就学相談、就学指導を行うため、厚木市心身障害児就学指導委員会を運営し、全ての児童・生徒が生き生きと学ぶ環境づくりを推進するとともに、特別支援教育の充実を図りました。
23年度実績	就学相談 年間4回、就学指導委員会 年間5回
成果と課題・今後の取組等	心身障害児就学指導委員会及び心身障害児就学指導専門委員会を開催し、ケースの相談及び行動等を観察しました。 今後も、各小・中学校において特別な支援を必要とする児童・生徒が増加していく中で、個々の状況やニーズに応じて、適切な指導を受けられる環境を整備するため、事業を継続していきます。

点検・評価委員からの意見	・ 特別な支援を要する児童・生徒への指導を、効果的に進めるためには、学校や保護者等への支援を始め、専門機関等との連携を含めた総合的な支援体制づくりが必要であるため、これらの事業の一層の充実を期待します。 ・ 各小・中学校において、特別な支援を必要とする児童・生徒が増加している中で、本事業では、保護者が安心して就学相談ができるよう配慮しつつ、児童・生徒のニーズに応じた専門的で適切な指導・助言が行われていますので、今後も事業の推進を望みます。
--------------	--

事業名	特別支援教育推進事業
担当課等	学校教育課
事業概要	特別な支援を必要とする児童・生徒に対して適切な支援・指導の充実に努めるため、総合的な支援体制を整備しました。
23年度実績	巡回相談員派遣回数 42回、障害児介助員配置人数 86人 通学送迎人数 27人
成果指標	巡回相談の実施報告書による校内の支援体制の充実度 80.0%
成果実績	巡回相談の実施報告書による校内の支援体制の充実度 93.6%
成果と課題・今後の取組等	巡回相談員の派遣や障害児介助員の配置、伊勢原養護学校への児童・生徒の送迎等により、個々の状況やニーズに応じて、適切な指導を受けられる環境を整備しました。 今後も、特別な支援を必要とする児童・生徒のよりよい学校生活の実現のため、総合的な支援体制を推進します。

点検・評価委員からの意見	・ 特別な支援を要する児童・生徒への指導を効果的に進めるためには、学校や保護者等への支援を始め、専門機関等との連携を含めた、総合的な支援体制づくりが必要であるため、これらの事業の一層の充実を期待します。 ・ 特別な支援・指導を必要とする児童・生徒への対応は、数値を見る限り成果があり、大いに評価できます。今後もより一層の連携を強める中で、児童・生徒のための支援・指導を求めます。 ・ 本事業で行われている巡回相談員の派遣、障害児介助員の配置、伊勢原養護学校への送迎等は、特別な支援を必要とする児童・生徒や、保護者、教職員にとって大変重要で有効なものであると思いますので、今後も事業の継続強化を望みます。
--------------	---

事業名	外国籍児童・生徒等支援事業
担当課等	学校教育課
事業概要	日本語の理解が十分でない児童・生徒への指導や支援を行うため、日本語指導協力者などを派遣しました。
23年度実績	派遣人数 22人 派遣校 小学校14校、中学校5校
成果指標	日本語指導が必要な児童・生徒支援のための人材派遣 100.0%
成果実績	日本語指導が必要な児童・生徒支援のための人材派遣 100.0%
成果と課題・今後の取組等	日本語が理解できず、学校生活に支障を来している外国籍児童・生徒及び帰国児童・生徒に対し、指導や支援の充実を図ることによって、国際社会に対応した教育を推進しました。 今後も、日本語が理解できない外国籍の児童・生徒が増加する現状の中、事業の積極的な推進を図ります。

点検・評価委員からの意見	・ 特別な支援を要する児童・生徒への指導を効果的に進めるためには、学校や保護者等への支援を始め、専門機関等との連携を含めた、総合的な支援体制づくりが必要であるため、これらの事業の一層の充実を期待します。 ・ 日本語の理解が十分でない外国籍の児童・生徒への支援として、日本語指導協力者が学校に派遣され、一定の成果があると思います。しかし、日常会話ができるようになっただけでは、小学校高学年・中学校の授業を理解できなかったり、高校進学や就職も困難な状況となったりするケースもあります。このようなケースでは、友達と生き生きとした学校生活を送ることも難しく、別の課題を生じてしまうこともあります。そこで、高学年の授業内容が理解できるレベルの日本語指導を行うための人材・教材・時間を確保した、積極的な事業の推進も強く望みます。
--------------	---

事業名	学校支援プロジェクトチーム事業
担当課等	学校教育課
事業概要	いじめ・暴力行為などの児童・生徒の問題行動を解決するため、関係機関等と連携してプロジェクトチームを組織し、学校を支援しました。
23年度実績	定期的な学校訪問 立小・中学校全36校 プロジェクトチーム会議 立中学校4校、13回開催
成果指標	問題行動発生件数の前年度との比較割合 80.0%
成果実績	問題行動発生件数の前年度との比較割合 100.0%
成果と課題・今後の取組等	児童・生徒の問題行動に対し、関係機関等と連携してプロジェクトチームを組織し、一人一人に適した対応を図りました。 児童・生徒の問題行動に対しては、早期発見、早期対応が不可欠であり、また、関係機関との連携の下、解決に向けた組織的対応が必要なため、今後も各学校の取組を支援していきます。

点検・評価委員からの意見	- 児童・生徒の問題行動は、担当教職員や学校だけでは解決が難しい面を含んでいるため、このような機動的なチームづくりや早期発見・早期対応への支援を、組織的に進めていくことは大変効果的であり、継続を望みます。 - 学校支援プロジェクトチーム事業については、平成22年度に比べて平成23年度実績が大きく伸びていることで、いかに現場における教育推進に困難さが増しているかが想像されます。この傾向は、今後も続くものと思われますので、教職員が安心して本来業務に専念できるよう、プロジェクトチームの充実を図っていただきたいと思います。 - 児童・生徒の問題行動に対し、早期に適切に対応するためには、関係機関と連携した組織的対応が必要です。そのような対応により、児童・生徒の心に寄り添う指導ができ、保護者との信頼関係も深めることができます。十分な成果も見られるようなので、今後も是非、本事業を継続してほしいと思います。
--------------	---

【基本方針4に対する点検・評価委員からの総括的意見】

校舎の耐震補強工事・トイレの改修工事・普通教室冷暖房設備調査等、厚木市の学校施設整備は、子どもたちの安心・安全に十分配慮した様々な事業が、積極的に推進されていると思います。また、校舎等で老朽化した箇所の補強や改修も早期に行われ、各学校の教育環境の充実が図られていると思います。

小・中学校は児童・生徒が1日の大半を9年間過ごす場であり、物理的にも精神的にも子どもたちの成長に大きな影響を与えています。施設の整備は、多額の予算を必要としますが、市内36校を広く見通して、計画的に物的環境の改修や設置を進めていただきたいと思います。

【点検・評価委員からの意見を受けての教育委員会の考え方】

学校施設の整備については、校舎の改修等施設整備事業等を計画的に実施し、施設整備の充実が図ることができたと考えております。今後も、児童・生徒が安全で安心して学べる教育環境の整備に努めます。

児童・生徒が安心して通学できるよう、地域等と連携して通学路の安全確保に努め、学童通学誘導員の配置について検証を行うなど交通事故等の減少に努め、今後も安心して登下校できる環境づくりを推進します。

外国籍の児童・生徒に対する支援事業については、積極的に事業を推進し、日本語指導を行う人材等の確保を行うなど、より一層の学習環境の整備の充実を図ります。

特別支援学級等における就学奨励事業などについては、経済的な理由による就学が困難な児童・生徒の割合は増えており、教育機会均等を進める上でも重要な事業と考えますので、今後も継続的な支援をしてまいります。



基本方針５ 教育の原点である家庭教育を支援します。

基本方針５の実現のために取り組んだ主要事業

事業名	家庭教育学級交付金
担当課等	社会教育課
事業概要	全ての教育の原点である家庭教育の充実を図るため、小・中学校PTA、幼稚園保護者会等が家庭教育学級を開設できるように支援しました。
23年度実績	市立全小・中学校PTA（36校）、私立初等学校保護者会（1校）及び幼稚園保護者会（15園）で家庭教育学級を開設
成果指標	家庭教育学級開設数 52団体
成果実績	家庭教育学級開設数 52団体
成果と課題・今後の取組等	学級開設に当たり実施内容や講師などについて、手引きを作成するとともに、適切な助言を行うことにより、より充実した事業実施が可能となりました。今後も、家庭教育の推進が図られるよう支援をしていきます。

点検・評価委員からの意見	・ 家庭教育の充実が教育全体の充実に結びつく、大事な営みであることは、教育改革国民会議で示されたとおりです。幼稚園保護者会やPTA等に家庭教育学級を委ねるだけでなく、教育委員会の事業として、保護者への意識高揚を図る取組を考えてほしいと思います。 また、保護者支援のプログラムも編成してほしいと思います。 ・ 幼稚園保護者会やPTA等、多くの保護者に呼び掛け、様々な内容で開催している家庭教育学級は、保護者の学校訪問回数や話合いの機会を増やし、有効な交流活動の場となっていますが、開催時刻や回数の関係で参加者は限定的になりがちです。今後はプログラムの中に、家庭教育に対する行政側の意図的な指導・支援も必要と考えます。
--------------	--

事業名	家庭教育情報提供事業
担当課等	社会教育課
事業概要	家庭教育の必要性や重要性を理解していただくため、市民の皆様を対象に講演会を開催し、必要な情報を提供しました。
23年度実績	家庭教育情報提供事業講演会開催回数 2回、参加者合計数 238人
成果指標	講演会等参加者数 200人
成果実績	講演会等参加者数 238人
成果と課題・ 今後の取組等	ニーズにあった講演内容を、実施することができたと考えますので、今後も、参加者が満足できる内容を実施できるように、幼稚園保護者会や小中学校PTAと要望・課題を調整しながら、事業を推進していきます。



事業名	「早寝早起き朝ごはん」啓発推進事業
担当課等	社会教育課
事業概要	成長期の子どもの健やかな成長のために、早寝早起き朝ごはんの大切さを、保護者の方などに積極的にPRしました。
23年度実績	啓発用チラシ等配布 約8,060枚(公民館まつり、幼稚園入園及び小学校就学時説明会、地域子ども教室ほか)
成果と課題・今後の取組等	子を持つ親を対象に、啓発用チラシや物品等を配布し、効果的な啓発活動を展開しました。 今後も、積極的に啓発対象や場所を拡大しながら推進していきます。

点検・評価委員からの意見	早寝早起き朝ごはんの大切さを、保護者に広くPRすることは必要なことだと思いますが、各家庭の生活習慣を変えることは、難しい問題もあります。 小・中学校は、児童・生徒への生活習慣アンケート等により、個別の課題を把握しています。実質的な成果のためには、担任や養護教諭による児童・生徒へのきめ細かな個別指導が有効と考えます。
--------------	--

【基本方針5に対する点検・評価委員からの総括的意見】

家庭の教育力の重要性が増す中、子どもの健やかな成長のためには、課題を抱えた家庭への、様々な角度からの支援が必要と思われます。啓発活動の充実を図るだけでなく、直接的な支援事業も検討してほしいと思います。

保護者への啓発を中心にした事業であります。講座や家庭教育学級には、自分の子育てに必ず役立つものが、含まれていると感じてもらえる内容構成をしていくと、興味・関心を一層高め、参加意欲の向上にもつながっていくのではないかと思います。また、参加者同士の横のつながりを深める工夫があると、次につながる大きな力として働いてくると考えられます。

【点検・評価委員からの意見を受けての教育委員会の考え方】

家庭教育学級交付金、家庭教育情報提供事業、「早寝早起き朝ごはん」啓発推進事業などの家庭教育の支援事業については、家庭教育の自主性を尊重しつつ、より多くの方が参加する機会を捉えて事業を実施しましたが、今後も多くの家庭において、教育の機能が十分発揮されることにつながるような支援をしてまいります。

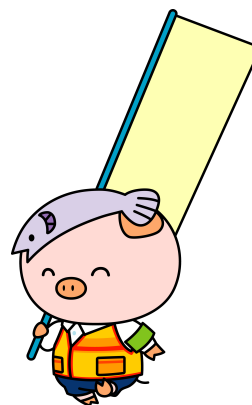
また、啓発についても、一層効果が期待される方法で実施してまいります。

基本方針6 地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上に努めます。

基本方針6の実現のために取り組んだ主要事業

事業名	街頭指導活動
担当課等	青少年教育相談センター
事業概要	青少年による問題行動の未然防止、早期発見・指導を行うため、青少年相談員や専門補導員が、公園や繁華街等を巡回しました。
23年度実績	実施回数 546回、従事者数 述べ1,352人 声かけ指導人数 1,329人
成果指標	街頭指導で1回当たり1人が声をかける人数 1.3人
成果実績	街頭指導で1回当たり1人が声をかける人数 1.0人
成果と課題・今後の取組等	街頭指導の実施により、青少年の健全育成を推進しました。 駅周辺や公園などにいる青少年に積極的に声掛け指導を行った結果、街中は比較的落ち着いた状況にあります。 今後も、青少年相談員、社会教育指導員、夜間専門補導員により不良行為の行われやすい場所を巡回し、青少年の問題行動の早期発見・指導に努めていきます。

点検・評価委員からの意見	環境浄化活動や啓発活動、街頭指導、巡回等、地道な活動ではありますが、継続的に活動が続けていくということが、やがて目に見える大きな力になって働いてくると思われますので、継続してほしいと思います。
--------------	---



事業名	非行防止・環境浄化活動
担当課等	青少年教育相談センター
事業概要	青少年健全育成のため、環境浄化活動としての「心と街のクリーン作戦」や、青少年相談員が青少年の薬物乱用防止を呼びかける「愛の一声みちびき運動」などを実施しました。
23年度実績	心と街のクリーン作戦 開催回数 1回、参加者数 313人 愛の一声みちびき運動 開催回数 15回、参加者数 76人
成果と課題・今後の取組等	環境浄化活動、啓発活動の実施により、青少年の健全育成を推進しました。 今後も、学校や関係機関等との連携を強化し、非行防止に向けた積極的、効果的な事業展開に努めていきます。

点検・評価委員からの意見	環境浄化活動や啓発活動、街頭指導、巡回等、地道な活動であります が、継続的に活動を続けていくということが、やがて目に見える大きな 力になって働いてくると思われますので、継続してほしいと思います。
--------------	---

【基本方針6に対する点検・評価委員からの総括的意見】

青少年健全育成のための巡回や声かけ指導等、様々な活動により、駅周辺や各地域の公園が落ち着いた状況となり、地域社会の教育力が向上してきた成果が出ていると思われま。

【点検・評価委員からの意見を受けての教育委員会の考え方】

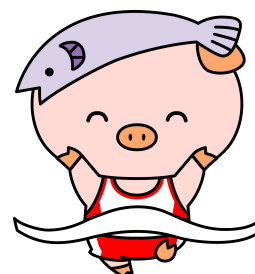
青少年による問題行動の未然防止のための街頭指導活動や非行防止・環境浄化活動で、積極的な声掛けを行い、街中は落ち着いた状況にあると考えます。

今後も、青少年相談員、専門補導員による声掛けや巡回等により、青少年の問題行動の未然防止、早期発見に努めます。

基本方針7 スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを推進します。

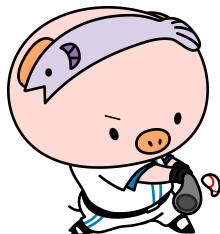
基本方針7の実現のために取り組んだ主要事業

事業名	市民スポーツ活動推進事業
担当課等	スポーツ課
事業概要	多くの市民の皆様にスポーツにふれあう機会を提供するため、ニュースポーツを体験するスポーツなじみDAYや、夏期巡回ラジオ体操などを開催しました。
23年度実績	スポーツなじみDAY ラジオ体操・みんなの体操会、NECサッカー教室等
成果指標	スポーツ行事の参加者数 15,200人
成果実績	スポーツ行事の参加者数 16,231人
成果と課題・今後の取組等	スポーツなじみDAY等を開催することにより、市民の皆様の健康・体力づくりの増進が図られました。 今後も、スポーツ活動の推進とともに市民の皆様の健康増進に結び付けるために、いかに継続させるかが課題です。



事業名	スポーツ推進事業補助金
担当課等	スポーツ課
事業概要	本市のスポーツの普及・振興を図るため、少年ソフトボール大会などの各種スポーツ大会やサッカー教室などのスポーツ教室等を開催する公益財団法人厚木市体育協会に対して、補助金を交付しました。
23年度実績	競技別市民選手権大会 6,469人、スポーツ大会 4,744人(8回) あつぎウォーク 566人、スポーツ教室等 1,933人 指導者養成支援等 1,417人、スポーツ人のつどい 486人 元気アップスポーツフェスティバル 616人
成果指標	スポーツ行事の参加者数 15,200人
成果実績	スポーツ行事の参加者数 16,231人
成果と課題・今後の取組等	今後も、公益財団法人厚木市体育協会に対して交付金を交付し、本市のスポーツの推進のための事業について、指導を図ってまいります。

事業名	スポーツ振興基金積立金
担当課等	スポーツ課
事業概要	スポーツの振興に役立てるため、市民の皆様からの寄附金などを積み立てました。
23年度実績	寄付金などの積み立て実施
成果と課題・今後の取組等	基金への寄付行為を促進するため、スポーツ振興基金の制度及び寄附制度の市民の皆様への周知に取り組んでまいります。



事業名	体育指導委員養成事業
担当課等	スポーツ課
事業概要	地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及・振興のため、地域のリーダーとしてふさわしい体育指導者の養成のための研修会などを行いました。
23年度実績	体育指導委員会会議開催 10回 研究会・研修会 6回 市等主催事業協力 8事業
成果指標	会議及び研修会数 20回
成果実績	会議及び研修会数 24回
成果と課題・今後の取組等	体育指導委員としての専門的知識を養うための研修会等に参加することにより、委員の資質の向上が図られました。 スポーツ活動に求められる市民の皆様のニーズが多様化していることから、今後も更なる委員の資質の向上を図ってまいります。

点検・評価委員からの意見	市民が、スポーツを気軽に安全に楽しむためには、体育指導委員の養成は、必要不可欠であると考えます。 今後も、事業の継続を期待していますが、指導委員の若手の養成が必要と考えられます。
--------------	---

事業名	競技団体選手強化事業交付金
担当課等	スポーツ課
事業概要	競技力向上を図るため、競技団体が全国大会や県大会等に選手を派遣する際に実施する強化合宿及び強化練習会等の事業に対し、交付金を交付しました。
23年度実績	交付団体数 3団体（全国大会1団体 県大会2団体）
成果と課題・今後の取組等	競技団体が、全国大会及び県大会に選手を派遣する際に実施する強化練習会等へ補助することにより、大会において上位の成績を収めることにつながっています。 今後も、協会及び選手の負担軽減と選手強化が、効果的に行える支援体制を推進いたします。

点検・評価委員からの意見	競技団体にとって、このような交付金は必要だと思われますので、今後も継続してほしいと思います。
--------------	---

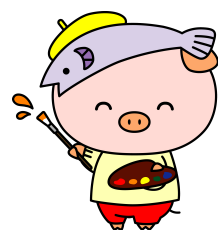
事業名	全国大会等出場奨励事業
担当課等	スポーツ課
事業概要	競技力向上を図るため、国際大会、全国大会に出場する市民の皆様に対し、奨励金を交付しました。
23年度実績	国際大会出場奨励金 5件 全国大会出場奨励金 132件
成果指標	全国大会出場者数 350人
成果実績	全国大会出場者数 368人
成果と課題・今後の取組等	全国大会及び国際大会に参加した市民の皆様に対して、奨励金を交付することで、激励及び士気の高揚が図られました。 今後も、スポーツ活動をされる市民の皆様に対し、全国大会等出場奨励事業についての制度の周知を、十分に行ってまいります。

点検・評価委員からの意見	スポーツをしている市民にとって、このような奨励金は必要だと思いますので、今後も継続してほしいと思います。
--------------	--

事業名	体育施設整備事業
担当課等	スポーツ課
事業概要	身近な所でスポーツ活動ができるよう、平成23年度は、河川敷内の中三田スポーツ広場の衛生設備等附帯施設を整備するため実施設計等を行いました。
23年度実績	中三田スポーツ広場水道設備実施設計完了
成果と課題・今後の取組等	河川敷内の広場については、水道施設を始めとした衛生設備の整備が必要であり、また、経年劣化しているスポーツ施設については、年次修繕を計画的に実施することにより、安心して安全な施設として、スポーツ環境の充実を図ってまいります。

点検・評価委員からの意見	それぞれのスポーツ施設の整備は、順次計画的に進められていると思いますが、点としての整備を進めるばかりではなく、例えば荻野運動公園と及川球技場をつなぐウォーキングコースのような、施設と施設、また、施設と公園等をつなぐハイキングコースやウォーキングコース、あるいはサイクリングコース等を工夫することにより、市内全域の動的なスポーツ施設ネットワーク化が期待できると思います。
--------------	--

事業名	郷土芸能公開活用事業
担当課等	文化財保護課
事業概要	郷土芸能を広く市民の皆様に伝承するため、相模人形芝居やささら踊りなどについて、児童・生徒、市民の皆様が数多く鑑賞できる機会を設けました。
23年度実績	郷土芸能公演 郷土芸能大会 鑑賞者数 795人 郷土芸能普及公演 鑑賞者数 2,900人 郷土芸能出前体験教室 体験者数 857人 郷土芸能イベント等 鑑賞者数 4,107人
成果指標	公演鑑賞者数 8,000人
成果実績	公演鑑賞者数 8,659人
成果と課題・今後の取組等	郷土の伝統文化への関心を深めるため、郷土芸能の鑑賞及び体験の機会を提供し、郷土芸能の保存伝承と後継者の育成を図りました。 平成23年度の特筆すべき点は、広報活動を強化したことによって、10月に実施した郷土芸能大会における鑑賞者数が過去最高であったこと、相模里神楽が神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演を果たしたことなどがあげられます。 今後も、積極的に広報活動等を行い、更なる普及啓発に努めてまいります。



事業名	郷土芸能後継者育成事業
担当課等	文化財保護課
事業概要	郷土芸能後継者育成のため、児童・生徒を始め多くの市民の皆様が参加できる体験講座として、郷土芸能学校・後継者育成講座を開設しました。
23年度実績	郷土芸能学校 厚木太神楽開催回数 20回、義太夫三味線開催回数 20回 後継者育成講座開催数 34回
成果指標	体験講座実施回数 70回
成果実績	体験講座実施回数 74回
成果と課題・今後の取組等	郷土芸能学校で実施していた義太夫、相模人形芝居については、既に事業が終了しておりますが、当時の受講者が、現在も後継者として現場で活動しています。 太神楽、義太夫三味線については、新たな受講生も加わっており、より充実した講座となるよう一層の工夫をしたいと考えております。 また、市内各施設での後継者育成講座を積極的に行い、更なる後継者育成に努めてまいります。

【基本方針7に対する点検・評価委員からの総括的意見】

社会教育分野は充実して進めていただいていると思いますが、スポーツ事業に参加する子と、そうでない子の体力などで二極化が進んでいると思われます。また、子どもの頃から指導が専門的すぎることも感じられ、このことも二極化に影響しているのではないかと感じます。行政としても総合的に子どもの体力の向上に取り組んでほしいと思います。

市や各団体が実施する、市民を対象としたスポーツへの参加を一層高めるため、ライフステージに沿って、年間の内容を一覧できるようにして提示するなど、更なる工夫を期待します。

文化芸能事業に関しては、一般市民に直接働きかけるという点では難しい面もあると思われます。まずは、児童・生徒が鑑賞や体験をすること(家での話題)、あるいは一緒に鑑賞や体験をすることを通して保護者・地域等への啓発や理解を進めていくということが効果的であると思われますので、学校への積極的な働きかけを検討していただきたいと思います。

【点検・評価委員からの意見を受けての教育委員会の考え方】

各スポーツ事業については、多くの方に参加いただき事業の浸透が図られてきていると考えており、今後も、ニーズに合った事業内容を推進します。また、指導員の研修会や各施設の整備を充実させることにより、参加者の更なる増加を図り、市民の皆様の健康・体力づくりの増進に努めます。

文化芸能に関しても、市内各施設での後継者育成講座を積極的行いしましたが、事業の周知のために更に啓発を工夫するなどし、若年層の関心向上や後継者の育成に努めてまいります。



基本方針８ 人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。

基本方針８の実現のために取り組んだ主要事業

事業名	人権教育・啓発推進事業
担当課等	社会教育課
事業概要	市民の皆様に、人権に対する意識をより高めていただくため、人権講座ヒューマンカレッジを開催するとともに、駅前にあるあつぎビジョン等を利用して、人権について積極的に啓発しました。
23年度実績	人権講座（ヒューマンカレッジ） 開催回数 全3回、参加者数 110人
成果指標	人権講座（ヒューマンカレッジ）参加者数 120人
成果実績	人権講座（ヒューマンカレッジ）参加者数 110人
成果と課題・今後の取組等	第3回目を、ヒューマンライツフェスタと同時開催で実施し、中学生人権作文の優秀作品朗読や受賞者を交えたディスカッションなど、人権に対する理解を深めることができた内容であったと考えます。 今後も、よりニーズに合い、現状に即した人権について、参加しやすいテーマ設定を心がけた講座を実施していきます。
点検・評価委員からの意見	本事業内容は、全ての部局を超えて取り組まなければならないものであると思われますので、関連する講座や研修等の調整を図り、連携を密にする中で、より効果的・効率的な展開ができるように進めていただきたいと思います。

【基本方針８に対する点検・評価委員からの総括的意見】

人権尊重の意識をより高め、人権教育の充実を図るためには、人権講座の開催だけでなく、現在の本市の課題を把握し、ニーズにあった事業を積極的に推進してほしいと思います。

【点検・評価委員からの意見を受けての教育委員会の考え方】

人権教育については、あつぎビジョン等の活用や中学生人権作文の優秀作品朗読、受賞者を交えたディスカッションを実施するなど、人権についての正しい理解を深めるための事業を実施しており、今後も、人権尊重について現状に即したニーズに合い、参加しやすいテーマを設定し、周知を図ることで更なる人権教育の充実を推進します。

【点検・評価委員会からの総括的意見】

私たちは平成24年度の点検・評価に当たって、基本方針ごとに主要事業の内容と成果を点検・評価する形をとりましたが、基本的に厚木市教育充実プランの事業は、きめ細かい事業が展開されており、実績も着実に上がってきていると思われます。

教育は、目に見える部分（ハード）と目に見えない部分（ソフト）とありますが、ハードは近隣市と比べても充実していると思います。しかし、ソフトは目に見えない部分ということで、その部分に予算を執行するのは理解されにくい部分がありますが、子どもたちに指導をしていく上で、必要不可欠であると考えます。

各事業の点検評価を行う中、事業の成果を示す指標が、分かりづらいものがありました。目標が分かりづらければ、事業そのものが目標を見失いがちにもなるため、適格な数値設定が必要だと思います。しかし、教育とは全てを数値で表せるものではなく、事業ごとに何を目標として、狙いは何かを把握することも大切ではないでしょうか。

教育の成果は、短期的には結果が見えなくても、長期的には効果が出てくるものと考えますので、長い目で事業を実施する必要があると思います。

今後も未来を担う人づくりのために、教育委員会各事業については継続してほしいと思います。



平成24年度
厚木市教育委員会点検・評価報告書
(平成23年度事業対象)

発 行 厚木市教育委員会
編 集 厚木市教育委員会教育総務部教育総務課